

人権に関する意識調査 報告書

平成27年3月

入間郡市同和対策協議会

目次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	2
4 回答者の基本属性	2
5 報告書の見方（留意点）	4
6 その他	4

II 調査結果の分析

1 人権全般に対する意識	5
2 女性の人権	24
3 子どもの人権	30
4 高齢者の人権	36
5 障害のある人の人権	42
6 同和問題（部落差別）	48
7 外国人の人権	59

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、人権問題に関する住民の意識の現状を把握し、「一人ひとりの人権が尊重される社会の実現」を目指した施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の方法

- (1) 調査地域……川越市、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、富士見市、
ふじみ野市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、三芳町、毛呂山町
- (2) 調査対象……地域内在住の満20歳以上の男女2,200人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳に基づく層化無作為抽出
- (4) 調査方法……郵送による調査票配布、回収
- (5) 調査期間……平成26年10月15日(水)～平成26年11月7日(金)
- (6) 調査内容
 - ・人権全般に対する意識
 - ・女性の人権
 - ・子どもの人権
 - ・高齢者の人権
 - ・障害のある人の人権
 - ・同和問題(部落差別)
 - ・外国人の人権

I 調査の概要

3 回収結果

- (1) 調査票送付人数 2,200 人
- (2) 有効回収人数 1,056 人
- (3) 有効回収率 48.0%

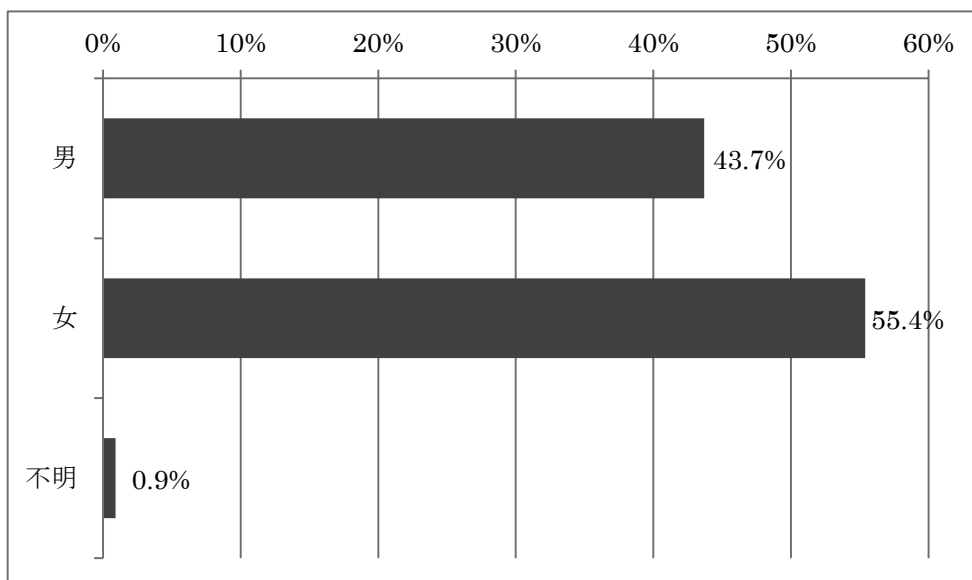
4 回答者の基本属性

【性別】

	回答者数	構成比
男	462 人	43.7%
女	585 人	55.4%
性別不明	9 人	0.9%
合計	1,056 人	100.0%

※男女の送付人数は均等

※構成比は一部端数の四捨五入を調整している

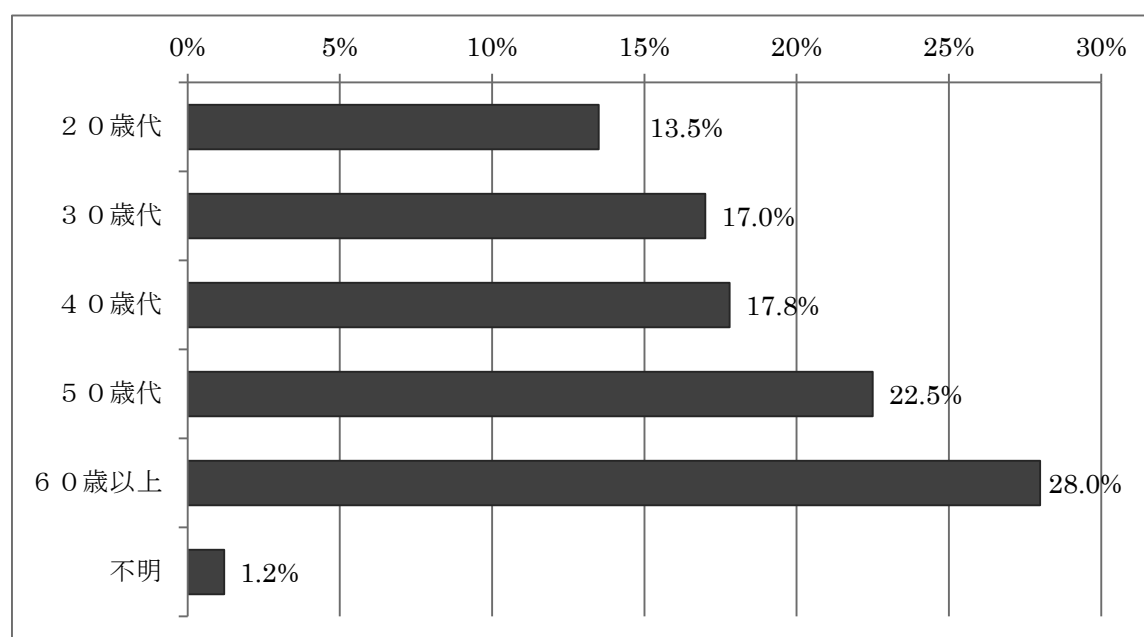


【年代別】

	回答者数	構成比
20歳代	142人	13.5%
30歳代	179人	17.0%
40歳代	188人	17.8%
50歳代	238人	22.5%
60歳以上	296人	28.0%
年代不明	13人	1.2%
合計	1,056人	100.0%

※各年代（20歳代～60歳以上）の
送付人数は均等

※構成比は一部端数の四捨五入を
調整している



【性別・年代別】

※構成比は一部端数の四捨五入を調整している

	男		女		性別不明		合計	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
20歳代	68人	14.7%	74人	12.6%	0人	0.0%	142人	13.5%
30歳代	69人	14.9%	110人	18.8%	0人	0.0%	179人	17.0%
40歳代	82人	17.8%	106人	18.1%	0人	0.0%	188人	17.8%
50歳代	92人	19.9%	146人	25.0%	0人	0.0%	238人	22.5%
60歳以上	148人	32.0%	144人	24.6%	4人	44.4%	296人	28.0%
年代不明	3人	0.7%	5人	0.9%	5人	55.6%	13人	1.2%
合計	462人	100.0%	585人	100.0%	9人	100.0%	1,056人	100.0%

I 調査の概要

5 報告書の見方（留意点）

（1）調査結果の分析区分について

調査結果は次の区分により分析しています。

【全 体】・・・特定の区分に分けず回答者全員 1,056 人を対象に分析しています。

※全体分析の結果は表とグラフで表していますが、グラフについては、紙面の都合により選択肢の言葉が途中で切れている場合があります。このような場合は表の選択肢と合わせて確認してください。

【性 別】・・・回答者の中で性別が確認できた男性 462 人、女性 585 人（合計 1,047 人）を対象に男女ごとに分けて傾向を分析しています。

【年代別】・・・回答者の中で年代が確認できた 20 歳代 142 人、30 歳代 179 人、40 歳代 188 人、50 歳代 238 人、60 歳以上 296 人（合計 1,043 人）を対象に年代ごとに分けて傾向を分析しています。

（2）回答割合の算出方法について

・（○は一つ）としている設問については、【全体】【性別】【年代別】ごとの回答者数を分母とし、それぞれの選択肢を選んだ人数の割合を算出しています。（表・グラフの単位を人にしていきます。）

・（該当するものすべてに○）など、一人の回答者が複数の項目を選択する設問については、その設問全体の回答数の合計を分母とし、それぞれの選択肢の回答数の割合を算出しています。（表・グラフの中で回答数を表示しています。）

（3）端数について

割合を求めたときの端数については、小数点第 2 位を四捨五入しています。そのため、割合の合計が 100%にならない場合があります。

6 その他

調査票の最後に問 19 として「人権問題」についての意見・感想を書いていたいただきましたが、紙面の都合等により報告書には掲載していません。

今後の人権問題に対する取組のための参考とさせていただきます。

Ⅱ 調査結果の分析

1 人権全般に対する意識

問1 あなたは、人権について、どのように考えていますか。(〇は一つ)

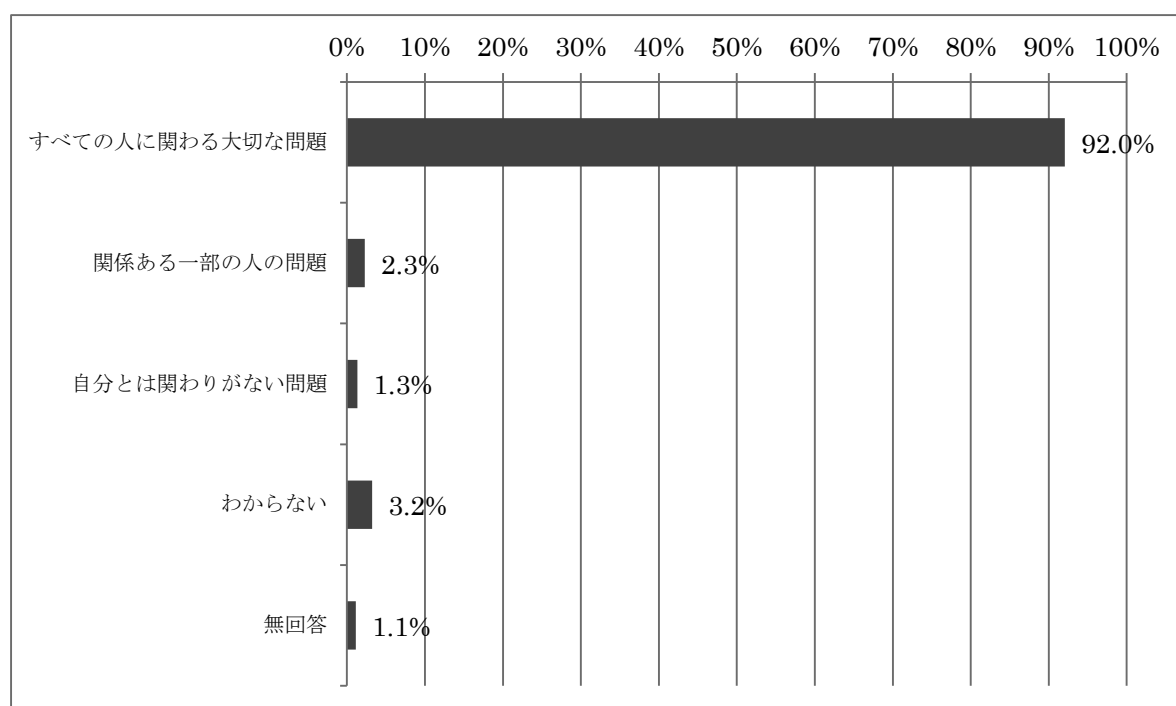
【全体】

人権についての考えは、「すべての人に関わる大切な問題」が92.0%で最も高く、次いで「わからない」が3.2%、「関係ある一部の人の問題」は2.3%と続いている。

回答者の9割以上が「すべての人に関わる大切な問題」として捉えている。

	回答者数	構成比
すべての人に関わる大切な問題	972 人	92.0%
関係ある一部の人の問題	24 人	2.3%
自分とは関わりがない問題	14 人	1.3%
わからない	34 人	3.2%
無回答	12 人	1.1%

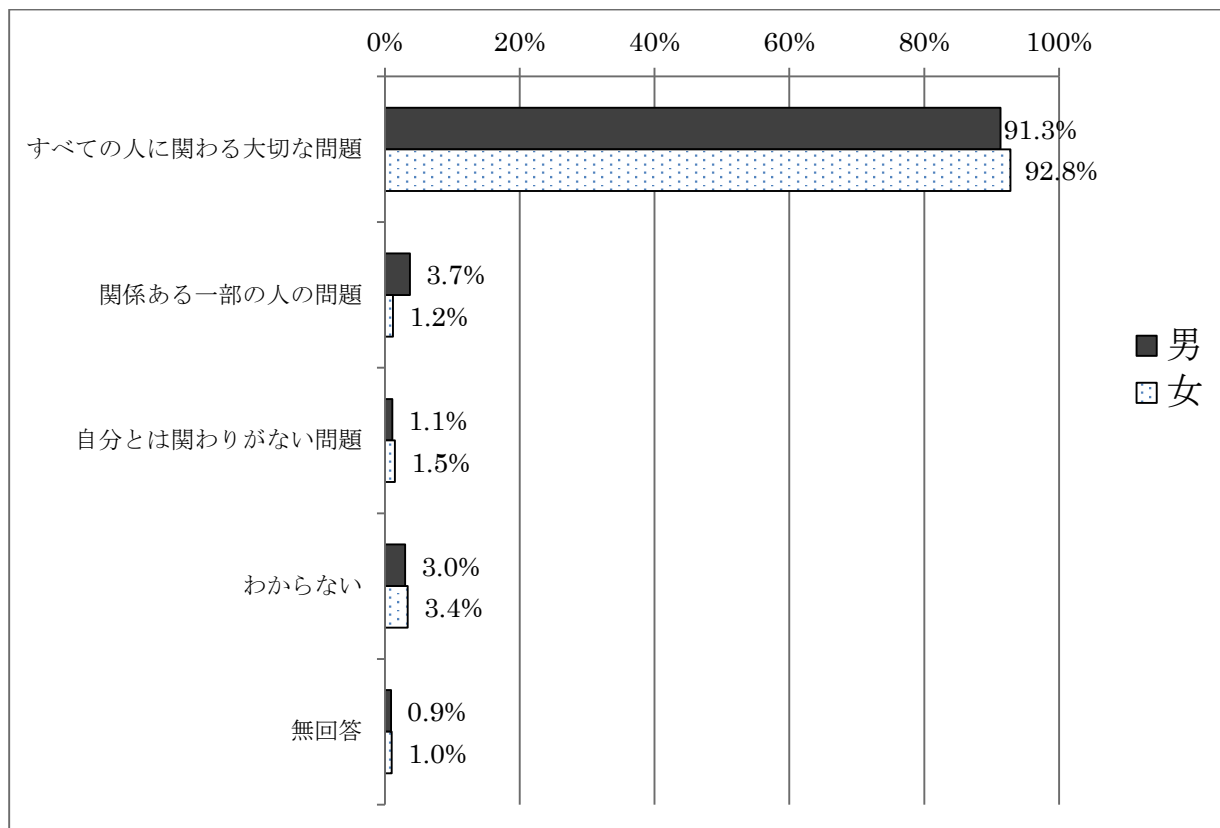
(回答者数合計 1,056 人)



II 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「すべての人に関わる大切な問題」が90%を超え、最も高くなっている。



(回答者数：男性 462 人・女性 585 人)

【年代別】

各年代において「すべての人に関わる大切な問題」が約90%で最も高くなっている。

年 代 (回答者数：合計 1,043 人)	20歳代 (142 人)	30歳代 (179 人)	40歳代 (188 人)	50歳代 (238 人)	60歳 以上 (296 人)
すべての人に関わる大切な問題	92.3%	93.3%	89.9%	93.3%	92.2%
関係ある一部の人の問題	4.9%	1.1%	2.7%	1.7%	1.7%
自分とは関わりがない問題	0.7%	0.6%	1.6%	2.1%	1.4%
わからない	2.1%	5.0%	4.8%	2.1%	2.7%
無回答	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	2.0%

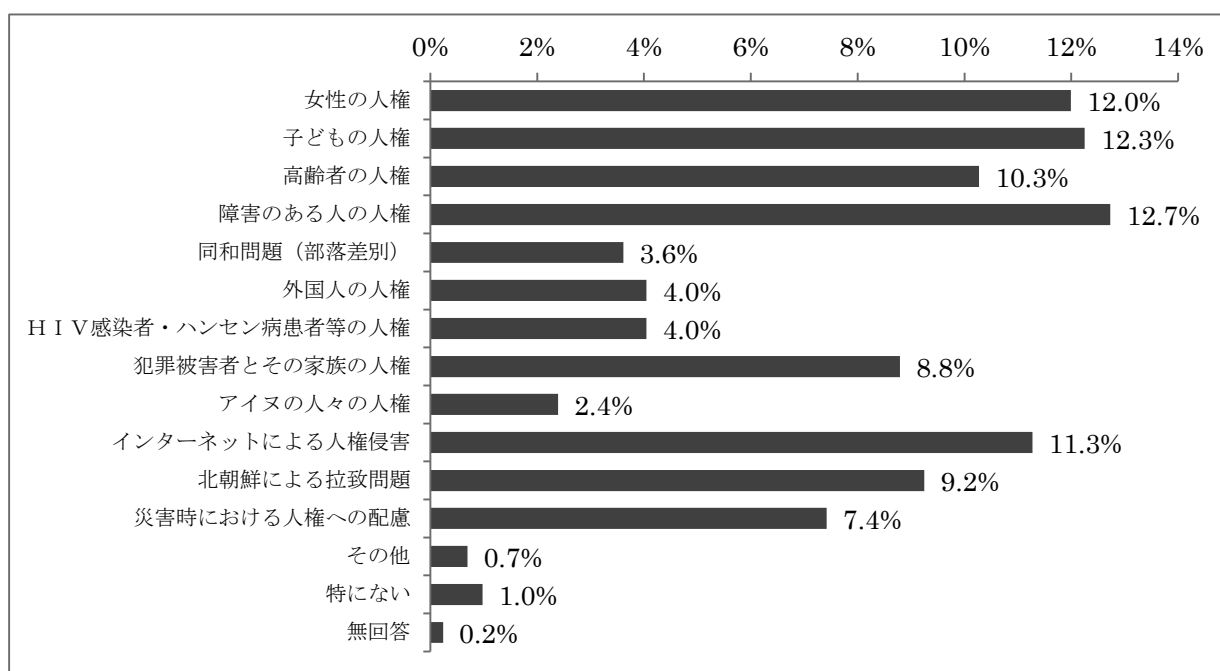
問2 いまの日本の社会には様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。（該当するものすべてに○）

【全体】

関心のある人権問題は、「障害のある人の人権」が12.7%で最も高く、次いで「子どもの人権」が12.3%、「女性の人権」が12.0%、「インターネットによる人権侵害」が11.3%、「高齢者の人権」が10.3%と続いている。

	回答数	構成比
女性の人権	551	12.0%
子どもの人権	563	12.3%
高齢者の人権	472	10.3%
障害のある人の人権	585	12.7%
同和問題（部落差別）	166	3.6%
外国人の人権	186	4.0%
H I V感染者・ハンセン病患者等の人権	186	4.0%
犯罪被害者とその家族の人権	404	8.8%
アイヌの人々の人権	110	2.4%
インターネットによる人権侵害	518	11.3%
北朝鮮による拉致問題	425	9.2%
災害時における人権への配慮	341	7.4%
その他	32	0.7%
特にない	45	1.0%
無回答	11	0.2%

（回答数合計 4,595）

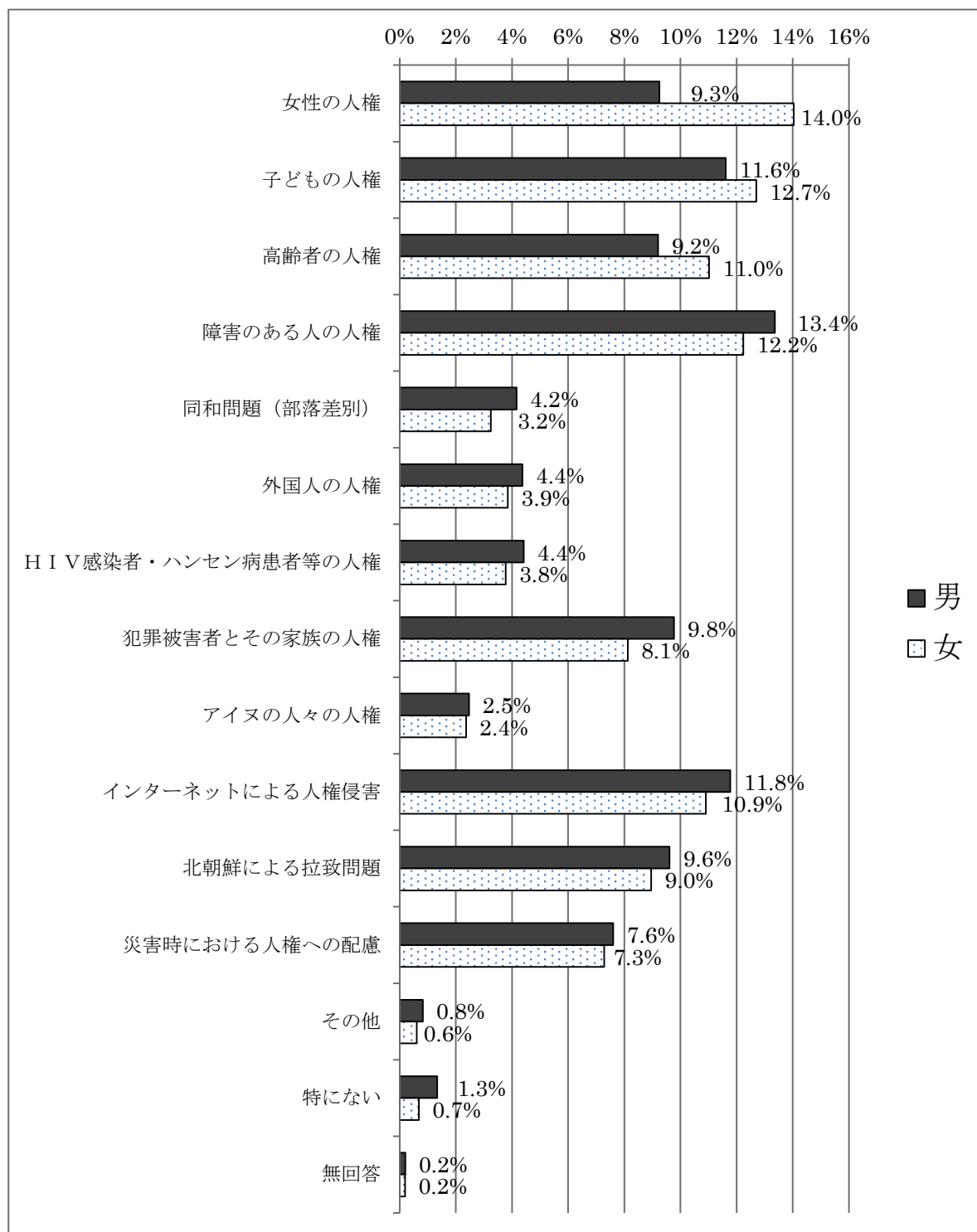


II 調査結果の分析

【性別】

関心のある人権問題は、男性は「障害のある人の人権」が13.4%で最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」が11.8%、「子どもの人権」が11.6%と続いている。

女性では「女性の人権」が14.0%で最も高く、次いで「子どもの人権」が12.7%、「障害のある人の人権」が12.2%と続いている。



(回答数：男性 1,941・女性 2,622)

【年代別】

20歳代は「障害のある人の人権」が14.6%、30歳代は「女性の人権」が14.1%、40歳代は「インターネットによる人権侵害」が13.3%、50歳代は「障害のある人の人権」が12.5%、60歳以上では「高齢者の人権」が13.9%で最も高くなっている。

年 代 (回答数：合計 4,556)	20歳代 (529)	30歳代 (764)	40歳代 (766)	50歳代 (1,112)	60歳 以上 (1,385)
女性の人権	13.2%	14.1%	11.5%	11.5%	11.1%
子どもの人権	14.4%	13.0%	12.5%	11.2%	11.7%
高齢者の人権	7.4%	7.5%	8.1%	10.3%	13.9%
障害のある人の人権	14.6%	12.8%	11.7%	12.5%	12.7%
同和問題（部落差別）	4.2%	3.0%	3.7%	3.7%	3.8%
外国人の人権	4.9%	4.8%	3.7%	4.0%	3.5%
H I V感染者・ハンセン病患者等の人権	4.2%	3.9%	3.9%	4.5%	3.8%
犯罪被害者とその家族の人権	7.9%	8.8%	9.8%	9.3%	8.4%
アイヌの人々の人権	1.1%	2.7%	2.1%	2.5%	2.7%
インターネットによる人権侵害	13.0%	13.4%	13.3%	11.5%	8.1%
北朝鮮による拉致問題	5.7%	8.2%	8.1%	9.0%	12.0%
災害時における人権への配慮	7.0%	6.2%	8.4%	7.9%	7.4%
その他	0.9%	0.8%	1.4%	0.5%	0.3%
特にない	1.3%	0.8%	1.4%	1.3%	0.4%
無回答	0.2%	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%

II 調査結果の分析

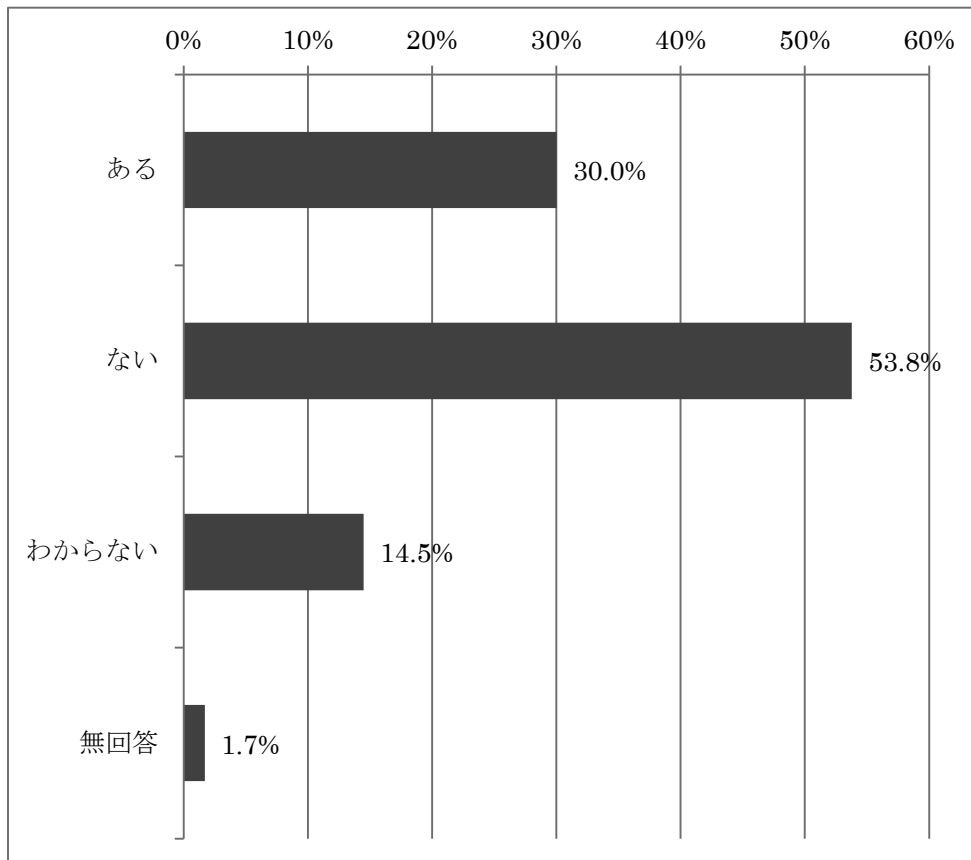
問3 あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの身近な人（家族・友人など）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は1つ）

【全体】

自分自身または身近な人の人権が侵害されたと感じた経験のある人は、「ある」が30.0%、「ない」が53.8%となっている。

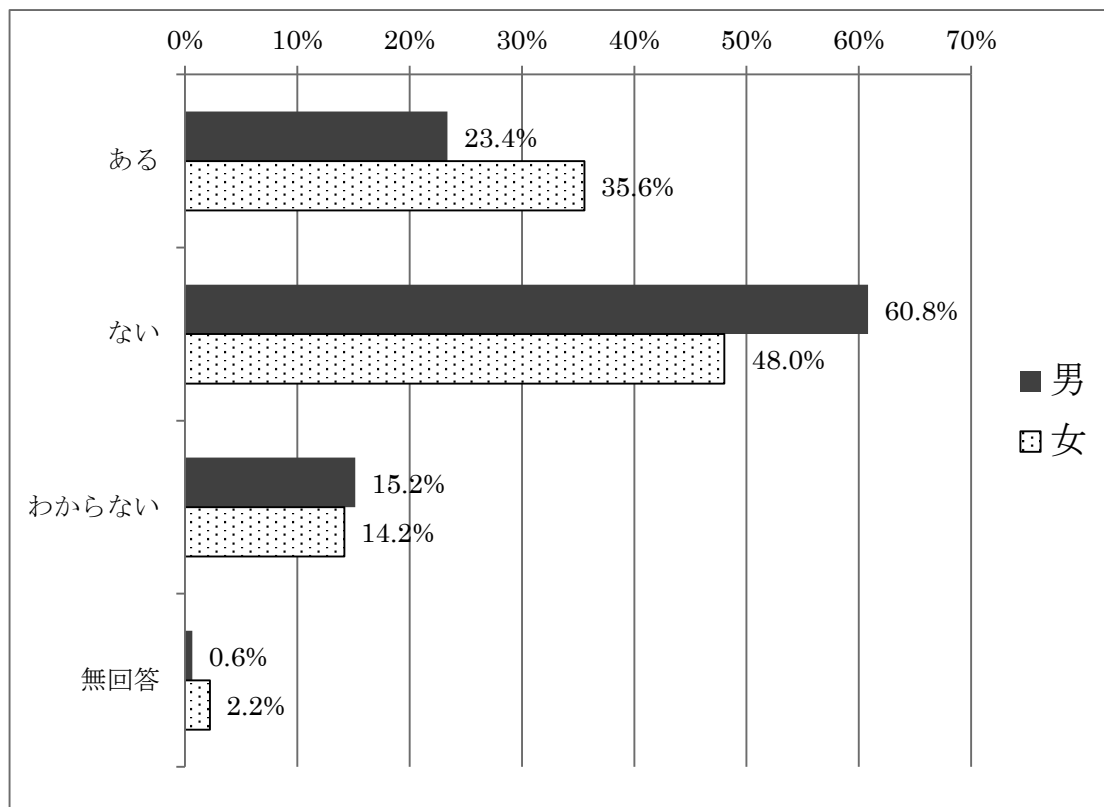
	回答者数	構成比
ある	317 人	30.0%
ない	568 人	53.8%
わからない	153 人	14.5%
無回答	18 人	1.7%

(回答者数合計 1,056 人)



【性別】

人権が侵害されたと感じた経験は、女性が 35.6%、男性が 23.4%で、女性は男性より 12.2 ポイント高くなっている。



(回答者数：男性 462 人・女性 585 人)

【年代別】

人権が侵害されたと感じた経験は、20 歳代と 50 歳代で約 30%、30 歳代と 40 歳代で 30% を超え、40 歳代の 37.2% が最も高くなっている。60 歳以上では 25.0% と減少している。

年代 (回答者数 : 合計 1,043 人)	20 歳代 (142 人)	30 歳代 (179 人)	40 歳代 (188 人)	50 歳代 (238 人)	60 歳 以上 (296 人)
ある	29.6%	32.4%	37.2%	29.8%	25.0%
ない	51.4%	44.7%	48.9%	59.7%	58.8%
わからない	18.3%	22.9%	12.2%	9.7%	12.8%
無回答	0.7%	0.0%	1.6%	0.8%	3.4%

II 調査結果の分析

◎問3で「人権が侵害されたと感じたことがある」と回答した人に対して

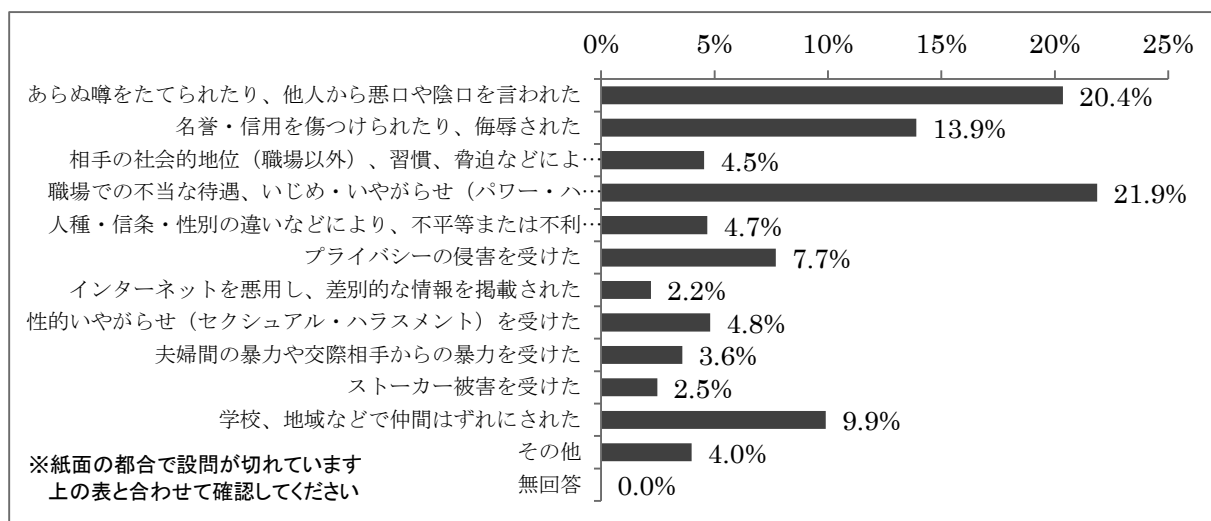
問3-1 それはどのような内容ですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

人権が侵害されたと感じた経験がある317人に内容を聞いたところ、「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が21.9%で最も高く、次いで「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が20.4%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が13.9%と続いている。

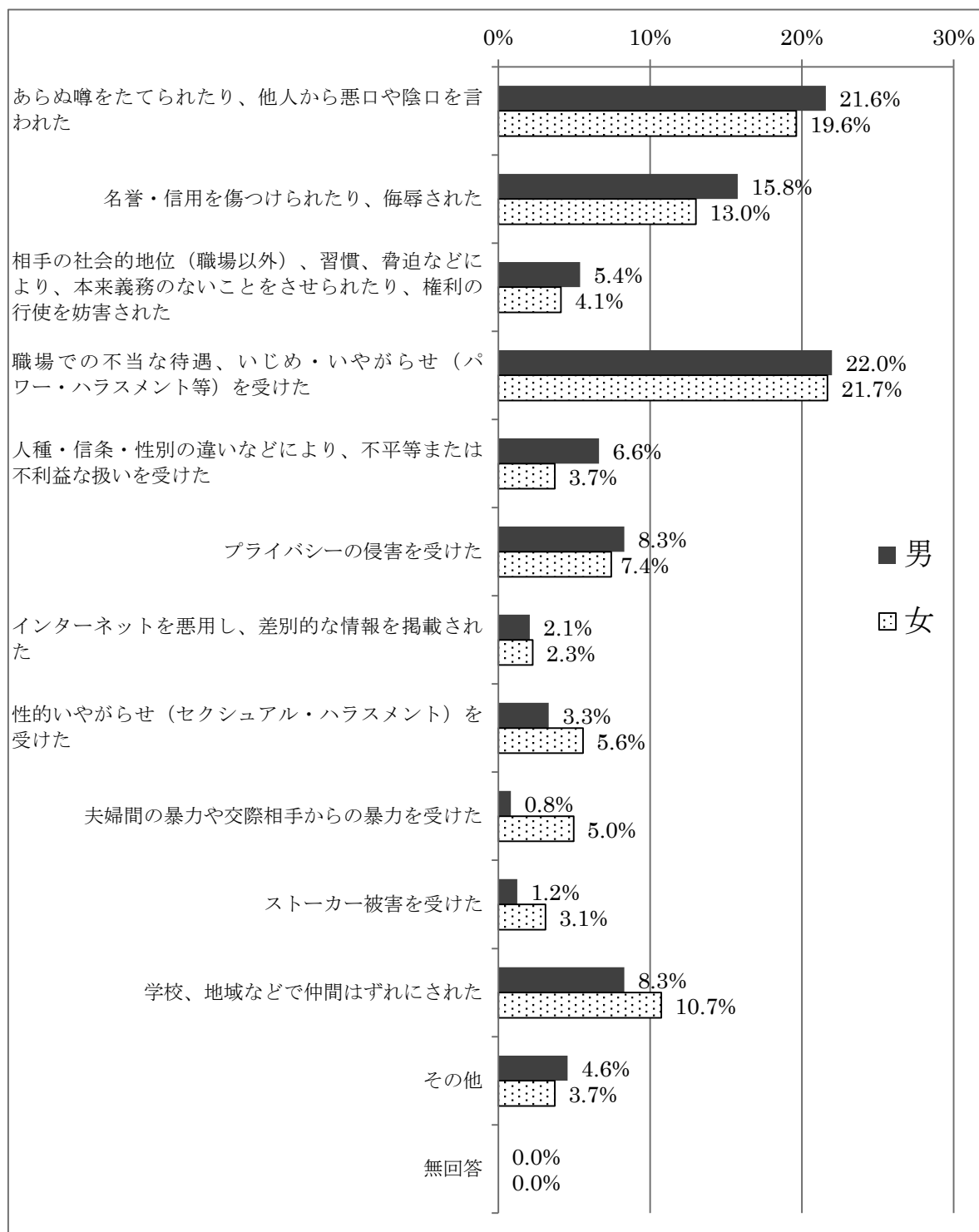
	回答数	構成比
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	148	20.4%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	101	13.9%
相手の社会的地位（職場以外）、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	33	4.5%
職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた	159	21.9%
人種・信条・性別の違いなどにより、不平等または不利益な扱いを受けた	34	4.7%
プライバシーの侵害を受けた	56	7.7%
インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	16	2.2%
性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	35	4.8%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	26	3.6%
ストーカー被害を受けた	18	2.5%
学校、地域などで仲間はずれにされた	72	9.9%
その他	29	4.0%
無回答	0	0.0%

(回答数合計 727)



【性別】

男女ともに「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」（男性 22.0% 女性 21.7%）、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」（男性 21.6% 女性 19.6%）、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」（男性 15.8% 女性 13.0%）の割合が高くなっており、男女で大きく違う点はない。



(回答数：男性 241・女性 484)

II 調査結果の分析

【年代別】

各年代において「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が18%以上と高くなっている。

また、20歳代から40歳代において「学校、地域などで仲間はずれにされた」が50歳代、60歳以上と比較して高くなっている。

年 代 (回答数：合計 718)	20歳代 (118)	30歳代 (145)	40歳代 (171)	50歳代 (143)	60歳 以上 (141)
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	19.5%	22.1%	18.7%	18.9%	22.7%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	11.0%	11.7%	15.2%	18.2%	12.1%
相手の社会的地位（職場以外）、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	5.1%	5.5%	5.3%	2.8%	3.5%
職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた	19.5%	20.7%	18.1%	28.0%	23.4%
人種・信条・性別の違いなどにより、不平等または不利益な扱いを受けた	1.7%	4.8%	5.8%	3.5%	6.4%
プライバシーの侵害を受けた	8.5%	4.8%	5.8%	9.8%	10.6%
インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	5.1%	2.1%	1.8%	0.7%	2.1%
性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	8.5%	5.5%	2.9%	3.5%	4.3%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	3.4%	2.1%	6.4%	3.5%	2.1%
ストーカー被害を受けた	2.5%	3.4%	2.9%	2.1%	1.4%
学校、地域などで仲間はずれにされた	11.9%	14.5%	11.1%	5.6%	7.1%
その他	3.4%	2.8%	5.8%	3.5%	4.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

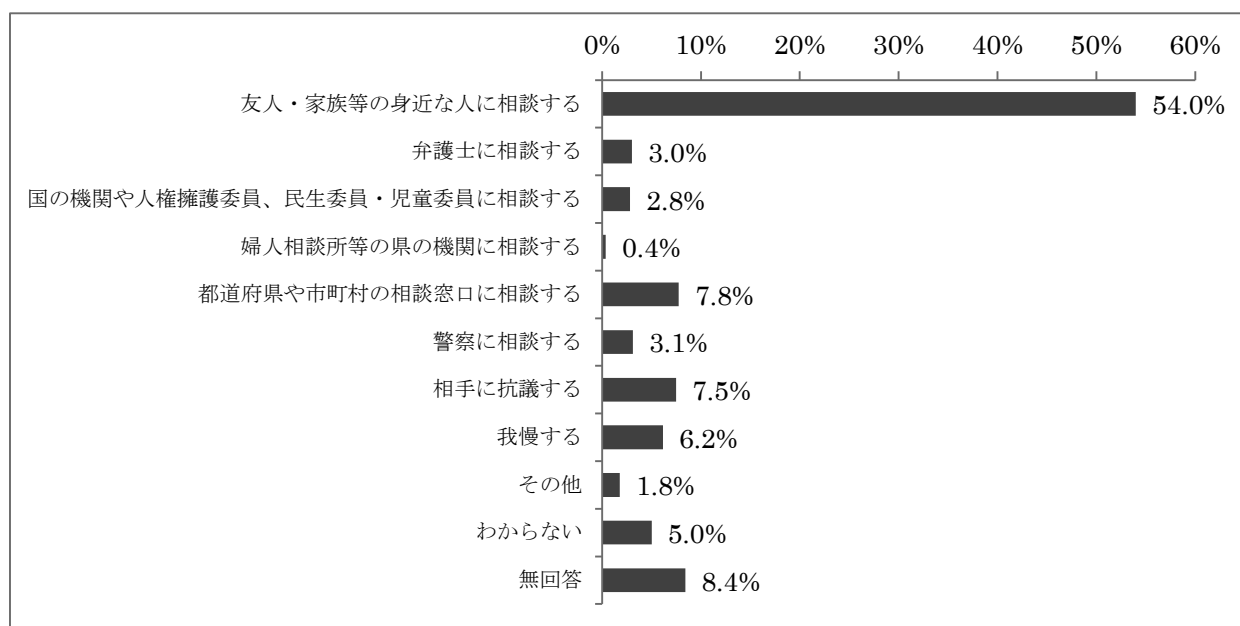
問4 もし、あなたが、ご自身の人権を侵害されたと感じた場合、まず、どのような対応をしますか。(〇は1つ)

【全体】

人権が侵害されたと感じた場合の対応は、「友人・家族等の身近な人に相談する」が54.0%で最も高く、次いで「都道府県や市町村の相談窓口相談する」が7.8%、「相手に抗議する」が7.5%と続いている。

	回答者数	構成比
友人・家族等の身近な人に相談する	570人	54.0%
弁護士に相談する	32人	3.0%
国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する	30人	2.8%
婦人相談所等の県の機関に相談する	4人	0.4%
都道府県や市町村の相談窓口相談する	82人	7.8%
警察に相談する	33人	3.1%
相手に抗議する	79人	7.5%
我慢する	65人	6.2%
その他	19人	1.8%
わからない	53人	5.0%
無回答	89人	8.4%

(回答者数合計 1,056人)

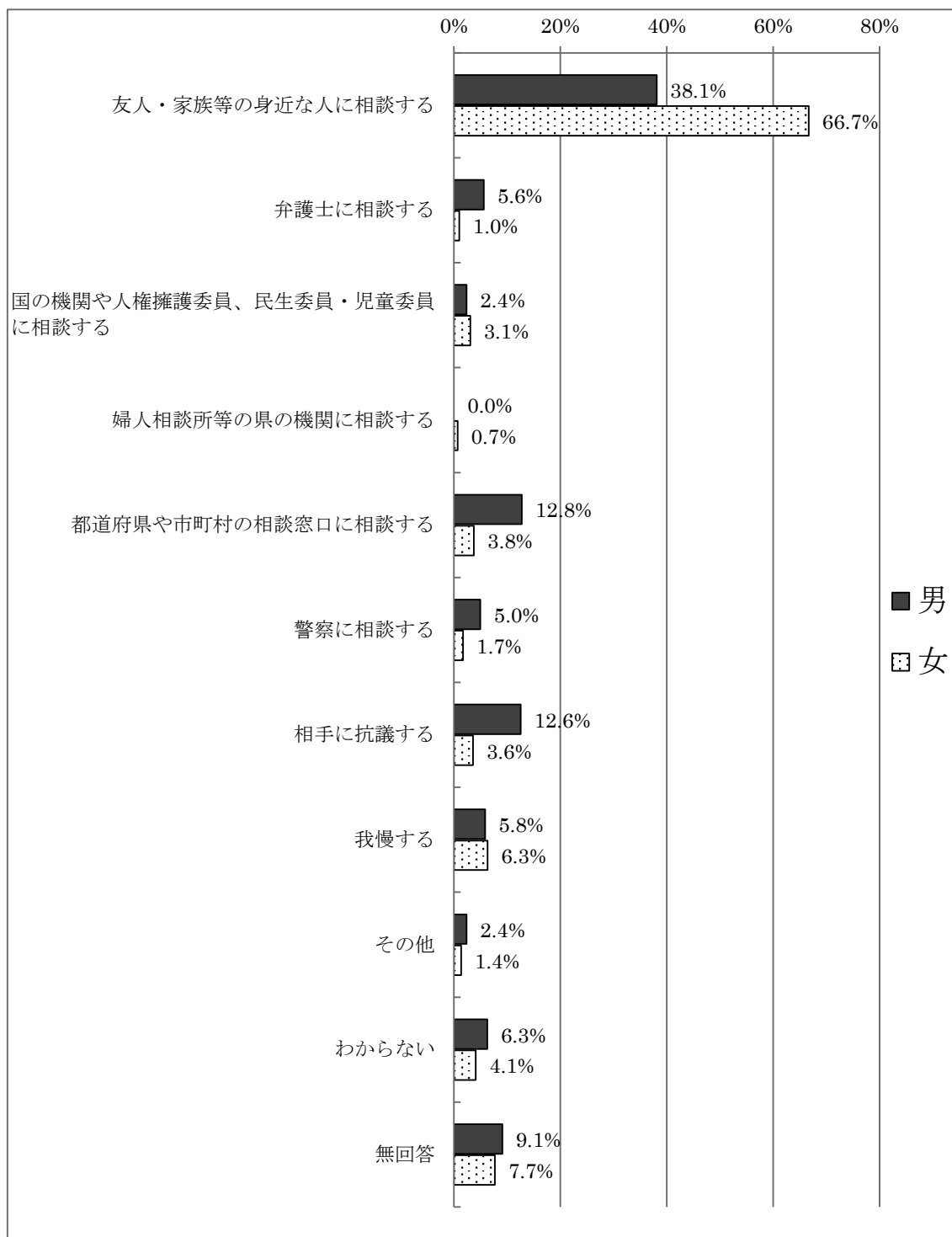


II 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「友人・家族等の身近な人に相談する」（男性 38.1% 女性 66.7%）の割合が最も高いという点は同じであるが、女性は男性より 28.6 ポイント高くなっている。

男性は女性より「都道府県や市町村の相談窓口相談する」（男性 12.8% 女性 3.8%）、
「相手に抗議する」（男性 12.6% 女性 3.6%）がともに 9.0 ポイント高くなっている。



(回答者数：男性 462 人・女性 585 人)

【年代別】

各年代において「友人・家族等の身近な人に相談する」の割合が最も高く、特に20歳代、30歳代では60%を超えている。

年 代 (回答者数：合計 1,043 人)	20歳代 (142 人)	30歳代 (179 人)	40歳代 (188 人)	50歳代 (238 人)	60歳 以上 (296 人)
友人・家族等の身近な人に相談する	62.7%	64.8%	58.5%	53.4%	41.2%
弁護士に相談する	2.1%	2.2%	2.1%	4.6%	3.4%
国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する	0.7%	1.1%	2.1%	0.8%	6.8%
婦人相談所等の県の機関に相談する	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.0%
都道府県や市町村の相談窓口相談する	2.8%	1.7%	6.4%	9.2%	13.9%
警察に相談する	1.4%	0.0%	1.6%	4.2%	6.1%
相手に抗議する	7.7%	5.6%	8.5%	6.7%	8.4%
我慢する	8.5%	6.1%	3.7%	7.1%	5.7%
その他	2.1%	1.1%	3.7%	1.7%	1.0%
わからない	4.9%	8.4%	5.9%	4.6%	3.0%
無回答	7.0%	8.9%	6.9%	7.6%	9.5%

II 調査結果の分析

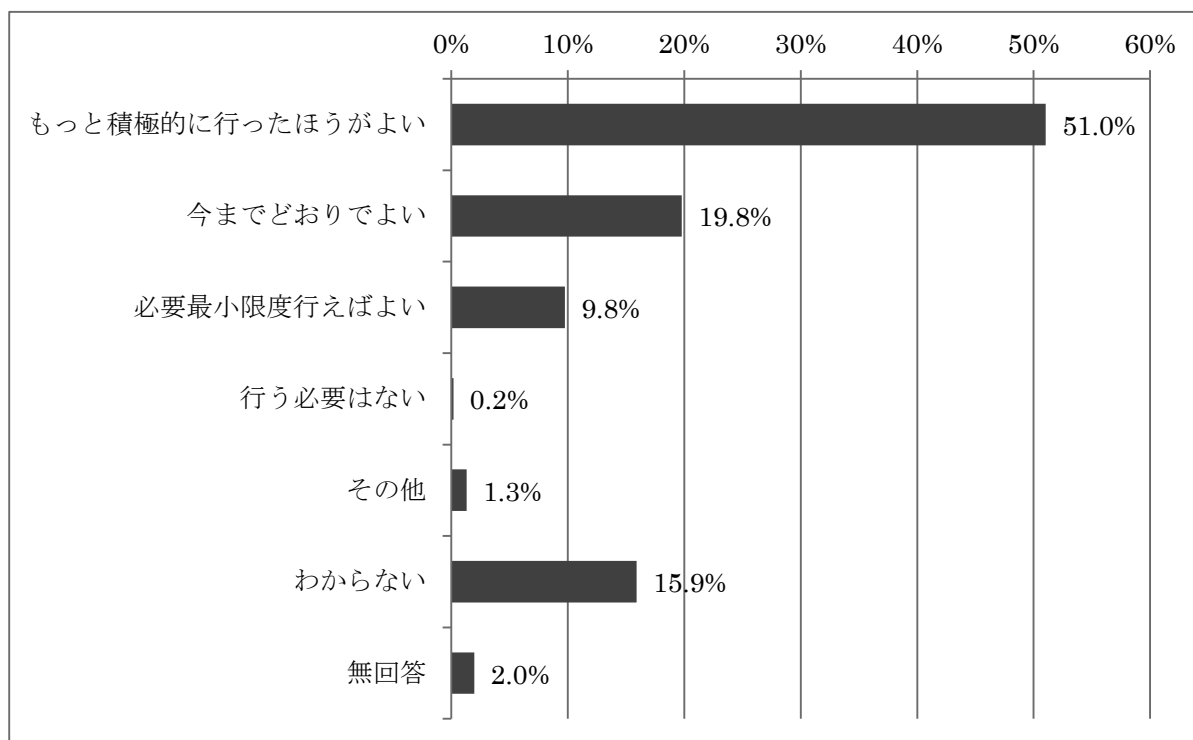
問5 あなたは、市や町において、人権教育・啓発をどのように進めたらよいと思いますか。(○は1つ)

【全体】

人権教育・啓発の進め方については、「もっと積極的に行ったほうがよい」が51.0%で最も高く、次いで「今までどおりでよい」が19.8%、「わからない」が15.9%と続いている。

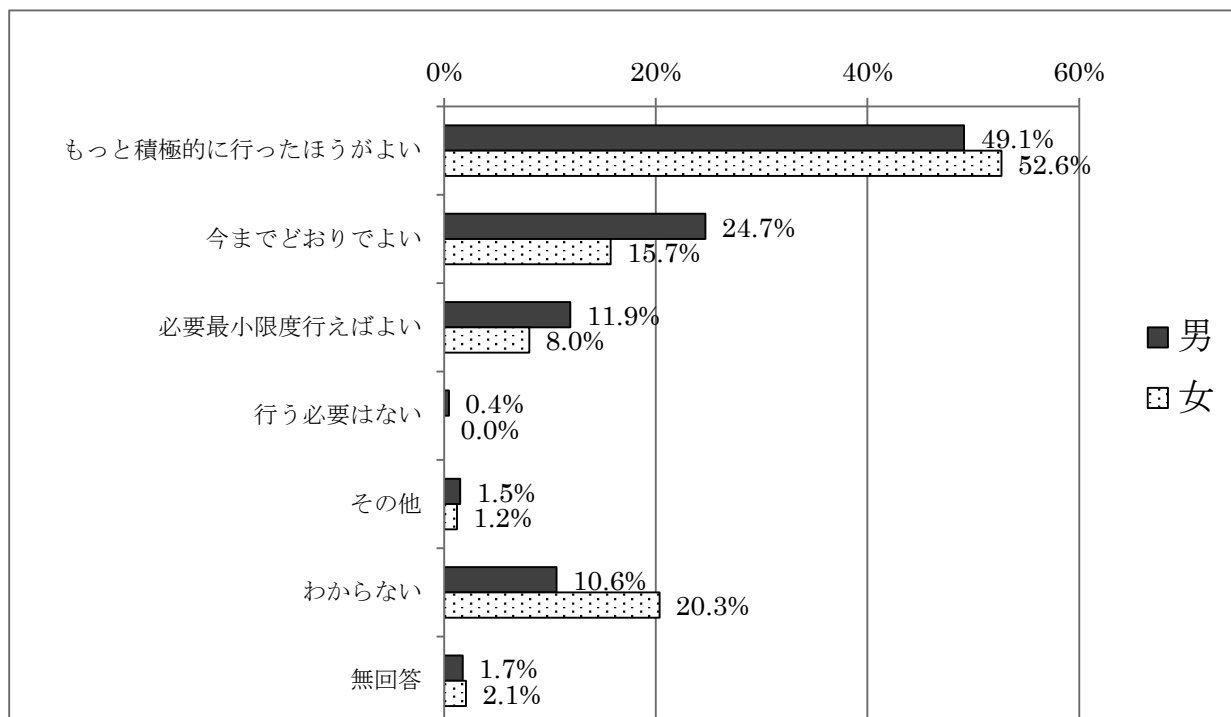
	回答者数	構成比
もっと積極的に行ったほうがよい	539人	51.0%
今までどおりでよい	209人	19.8%
必要最小限度行えばよい	103人	9.8%
行う必要はない	2人	0.2%
その他	14人	1.3%
わからない	168人	15.9%
無回答	21人	2.0%

(回答者数合計 1,056人)



【性別】

男女ともに「もっと積極的に行ったほうがよい」の割合が概ね 50%（男性 49.1% 女性 52.6%）で最も高く、次いで男性は「今までどおりでよい」が 24.7%、女性は「わからない」が 20.3%となっている。



(回答者数：男性 462 人・女性 585 人)

【年代別】

各年代において「もっと積極的に行ったほうがよい」が 40%台後半から 50%台後半と高い割合になっている。

次いで、30 歳代以外の年代では「今までどおりでよい」、「わからない」、30 歳代では「わからない」、「今までどおりでよい」の順となっている。

年代 (回答者数：合計 1,043 人)	20 歳代 (142 人)	30 歳代 (179 人)	40 歳代 (188 人)	50 歳代 (238 人)	60 歳以上 (296 人)
もっと積極的に行ったほうがよい	51.4%	48.6%	51.1%	57.6%	47.3%
今までどおりでよい	22.5%	18.4%	20.7%	17.2%	20.6%
必要最小限度行えばよい	10.6%	6.7%	11.7%	6.3%	12.8%
行う必要はない	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
その他	2.1%	3.9%	0.5%	0.4%	0.7%
わからない	12.0%	21.8%	14.4%	17.2%	14.2%
無回答	0.7%	0.6%	1.6%	0.8%	4.4%

II 調査結果の分析

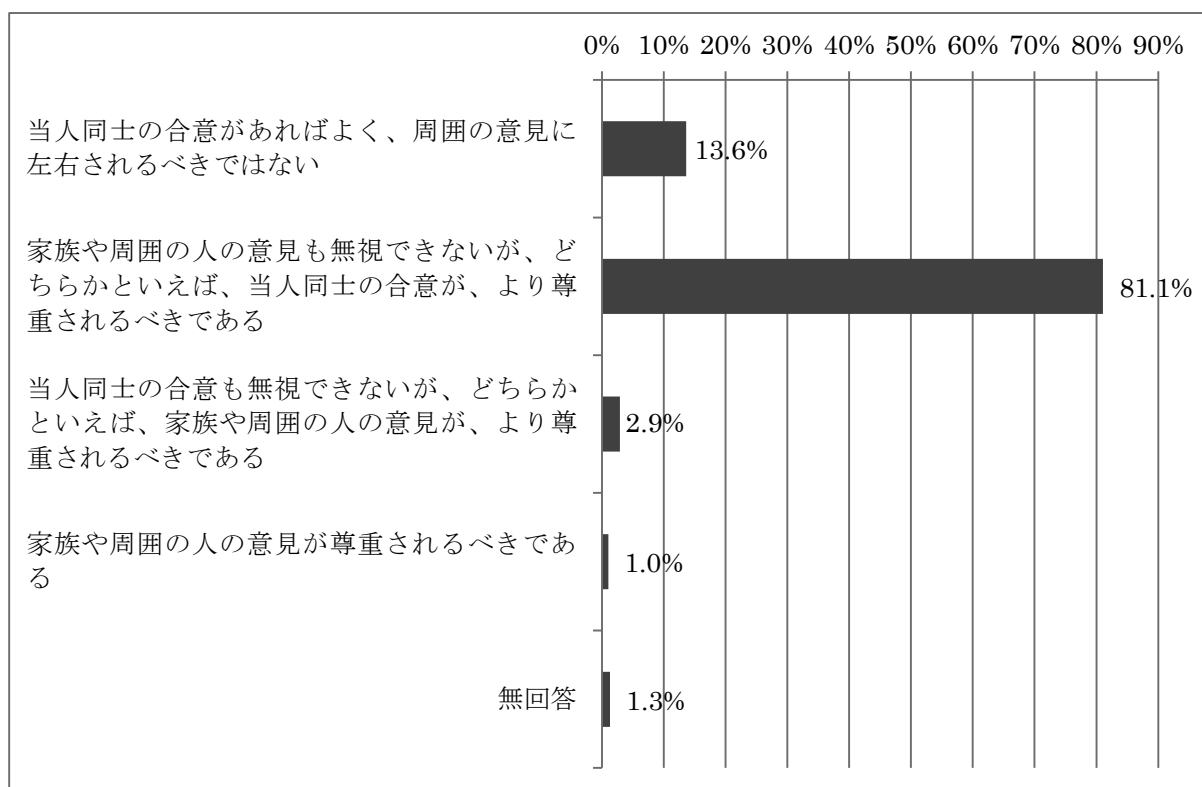
問6 あなたは、結婚についてどのように考えますか。(〇は1つ)

【全体】

結婚についての考え方は、「家族や周囲の人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである」が81.1%、次いで「当人同士の合意があればよく、周囲の意見に左右されるべきではない」が13.6%となっており、どちらかといえばも含め、当人同士の意見を尊重する人の割合が94.7%を占めている。

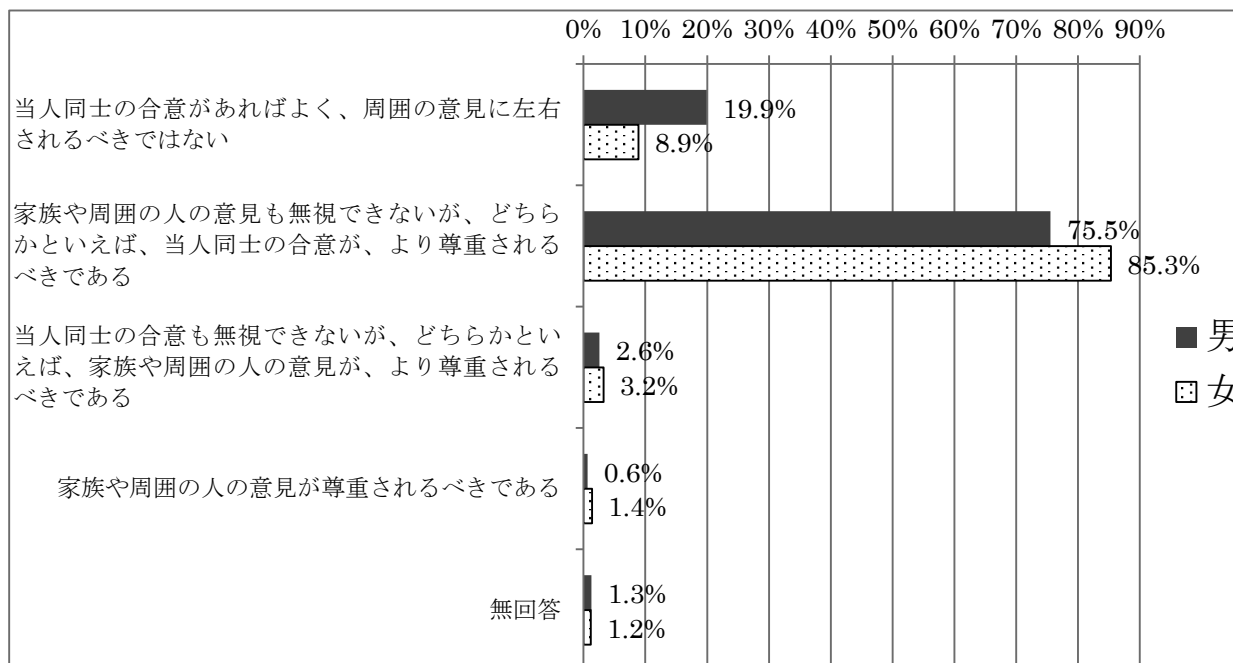
	回答者数	構成比
当人同士の合意があればよく、周囲の意見に左右されるべきではない	144 人	13.6%
家族や周囲の人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである	856 人	81.1%
当人同士の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族や周囲の人の意見が、より尊重されるべきである	31 人	2.9%
家族や周囲の人の意見が尊重されるべきである	11 人	1.0%
無回答	14 人	1.3%

(回答者数合計 1,056 人)



【性別】

男性は女性より「当人同士の合意があればよく、周囲の意見に左右されるべきではない」（男性 19.9% 女性 8.9%）が 11.0 ポイント高く、女性は男性より「家族や周囲の人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである」（女性 85.3% 男性 75.5%）が 9.8 ポイント高くなっている。



(回答者数：男性 462 人・女性 585 人)

【年代別】

各年代において「家族や周囲の人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである」が 75%以上で最も高く、次いで「当人同士の合意があればよく、周囲の意見に左右されるべきではない」と続いている。

年代 (回答者数：合計 1,043 人)	20歳代 (142 人)	30歳代 (179 人)	40歳代 (188 人)	50歳代 (238 人)	60歳以上 (296 人)
当人同士の合意があればよく、周囲の意見に左右されるべきではない	19.0%	12.3%	15.4%	13.4%	11.5%
家族や周囲の人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである	76.1%	83.8%	79.3%	83.2%	80.7%
当人同士の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族や周囲の人の意見が、より尊重されるべきである	2.8%	2.2%	3.2%	2.5%	3.7%
家族や周囲の人の意見が尊重されるべきである	0.7%	1.1%	0.5%	0.8%	1.7%
無回答	1.4%	0.6%	1.6%	0.0%	2.4%

II 調査結果の分析

問7 あなたは、結婚や就職の際に、身元調査をすることをどう思いますか。

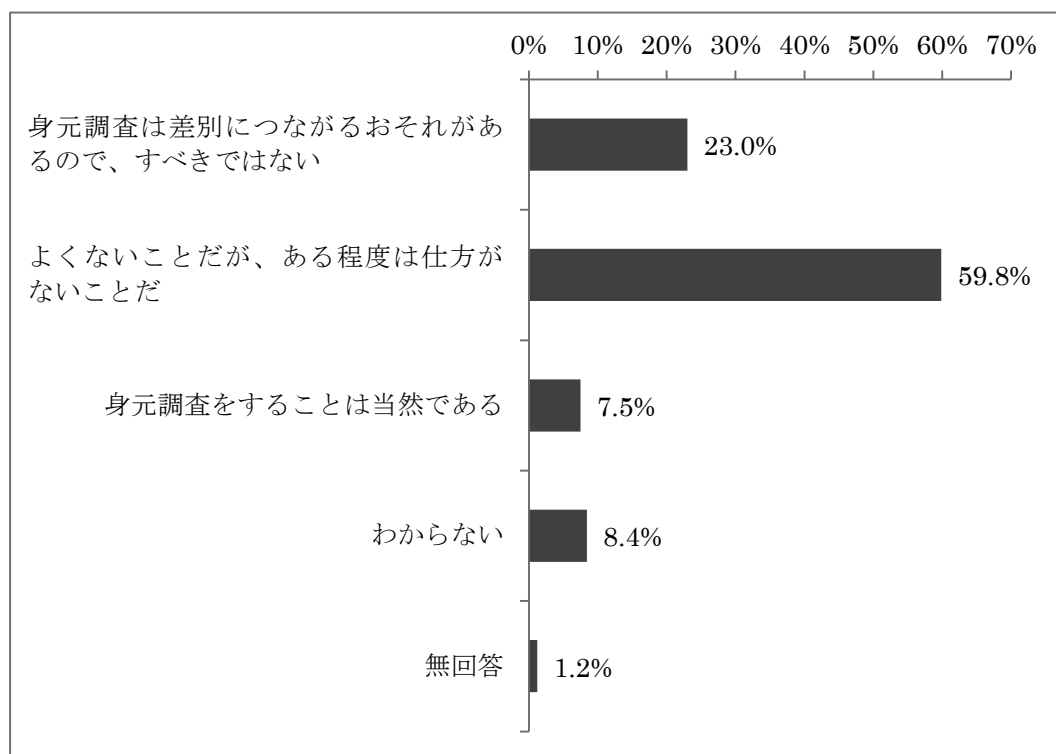
(○は1つ)

【全体】

「よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ」が59.8%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」が23.0%となっている。

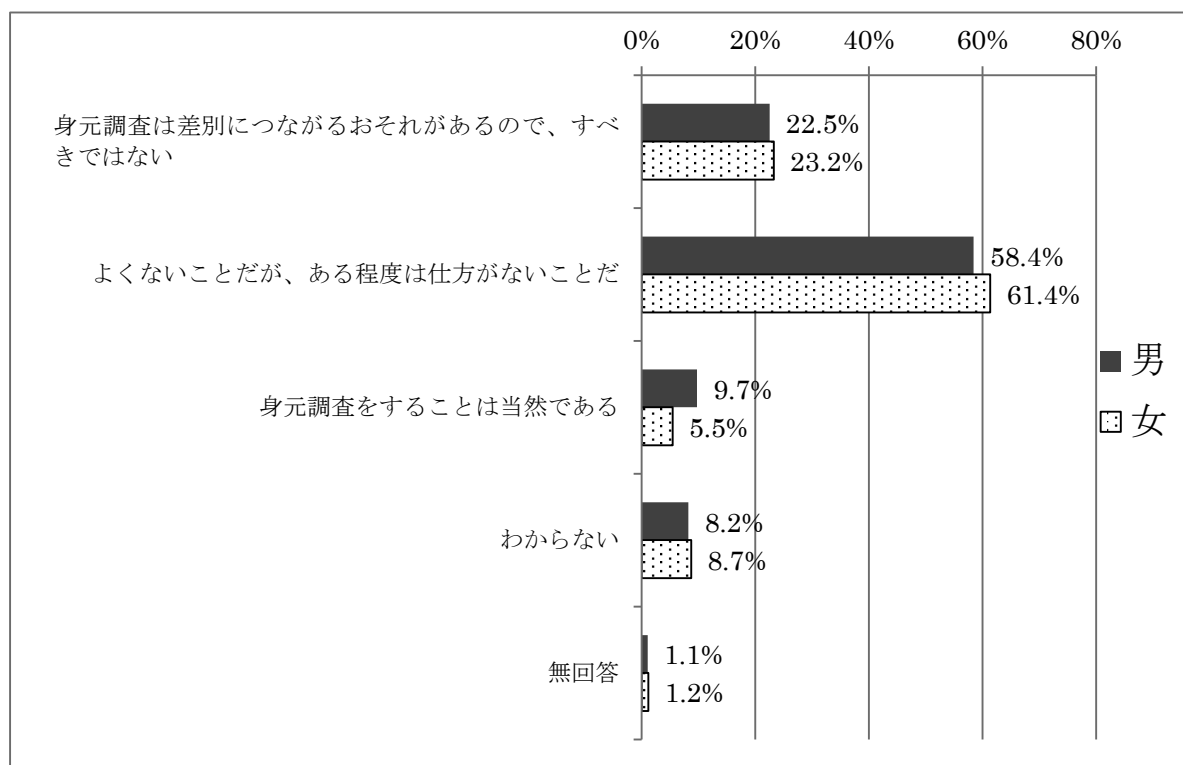
	回答者数	構成比
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない	243 人	23.0%
よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ	632 人	59.8%
身元調査をすることは当然である	79 人	7.5%
わからない	89 人	8.4%
無回答	13 人	1.2%

(回答者数合計 1,056 人)



【性別】

男女ともに「よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ」が60%前後（男性58.4% 女性61.4%）で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」が23%前後（男性22.5% 女性23.2%）となっている。



(回答者数：男性462人・女性585人)

【年代別】

各年代で「よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ」が55%以上で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない」の順になっている。「身元調査をすることは当然である」は、各年代で10%未満となっている。

年代 (回答者数：合計1,043人)	20歳代 (142人)	30歳代 (179人)	40歳代 (188人)	50歳代 (238人)	60歳以上 (296人)
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではない	18.3%	27.4%	17.0%	27.7%	22.6%
よくないことだが、ある程度は仕方がないことだ	61.3%	55.9%	63.8%	56.3%	61.8%
身元調査をすることは当然である	8.5%	7.3%	5.3%	5.9%	9.8%
わからない	11.3%	8.9%	12.2%	9.7%	3.7%
無回答	0.7%	0.6%	1.6%	0.4%	2.0%

II 調査結果の分析

2 女性の人権

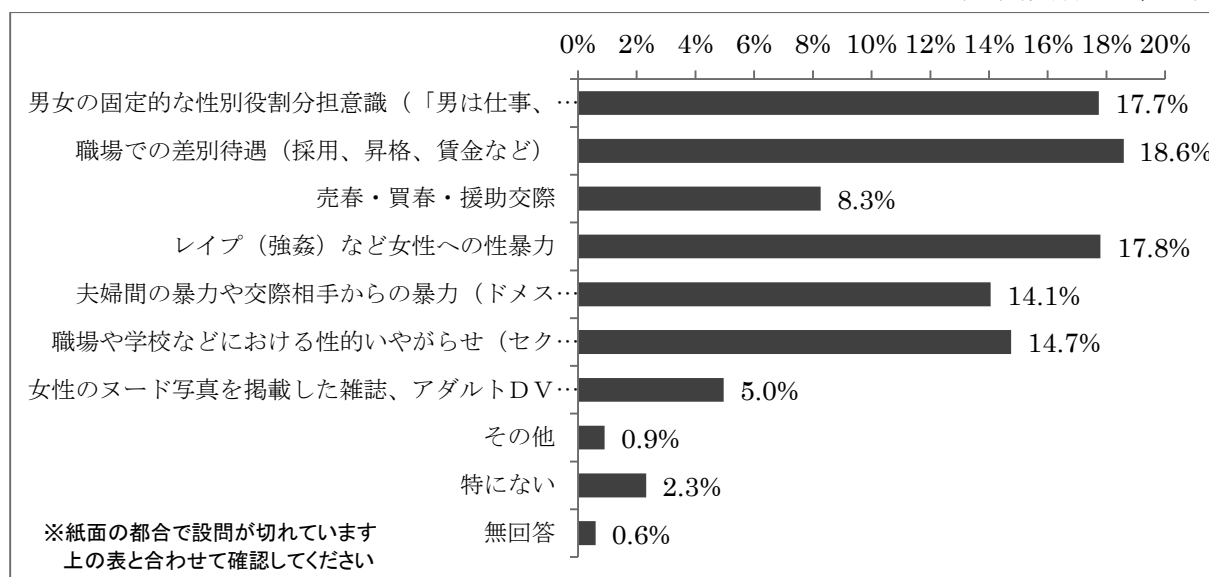
問8 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのような行為に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

女性の人権が尊重されていないと感じる行為は、「職場における差別待遇」が18.6%で最も高く、次いで、「レイプ（強姦）など女性への性暴力」が17.8%、「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」が17.7%、「職場や学校などにおける性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）」が14.7%と続いている。

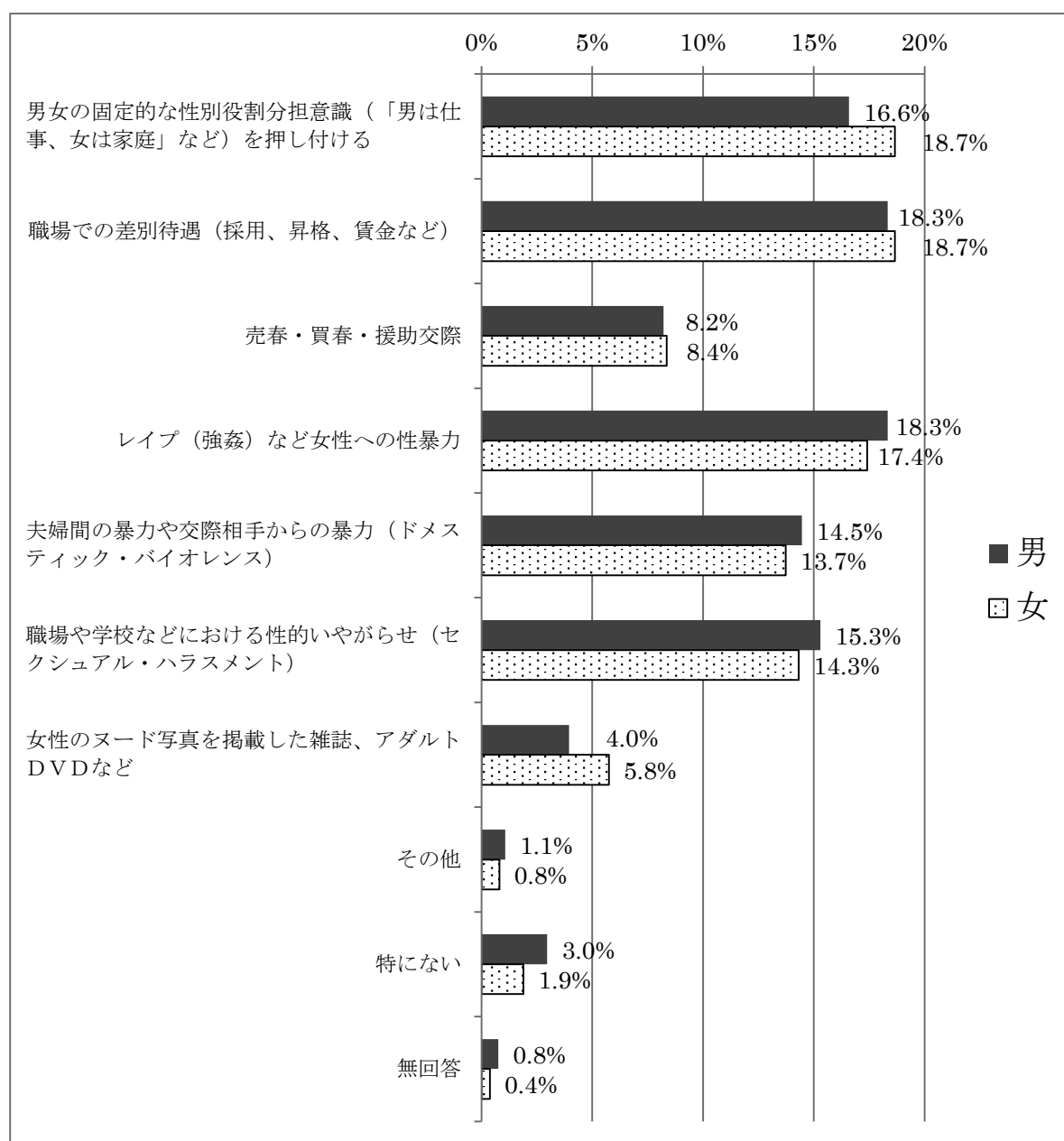
	回答数	構成比
男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける	564	17.7%
職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）	591	18.6%
売春・買春・援助交際	263	8.3%
レイプ（強姦）など女性への性暴力	566	17.8%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）	447	14.1%
職場や学校などにおける性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	469	14.7%
女性のヌード写真を掲載した雑誌、アダルトDVDなど	158	5.0%
その他	29	0.9%
特にない	74	2.3%
無回答	19	0.6%

(回答数合計 3,180)



【性別】

女性の割合が高いものとして、特に「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」（女性 18.7% 男性 16.6%）が 2.1 ポイント、「女性のヌード写真を掲載した雑誌、アダルトDVDなど」（女性 5.8% 男性 4.0%）が 1.8 ポイント、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」（女性 18.7% 男性 18.3%）が 0.4 ポイント、「売春・買春・援助交際」（女性 8.4% 男性 8.2%）が 0.2 ポイント、高くなっている。その他の項目については、男性の割合が上回っている。



(回答数：男性 1,314・女性 1,843)

II 調査結果の分析

【年代別】

各年代において「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける」、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」、「レイプ（強姦）など女性への性暴力」、「夫婦間の暴力や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）」、「職場や学校などにおける性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）」の割合が高くなっている。

年 代 (回答数：合計 3,149)	20歳代 (445)	30歳代 (568)	40歳代 (528)	50歳代 (734)	60歳 以上 (874)
男女の固定的な性別役割分担意識 （「男は仕事、女は家庭」など）を押し付ける	16.9%	19.7%	16.1%	18.4%	17.4%
職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）	16.4%	18.7%	19.3%	17.6%	19.8%
売春・買春・援助交際	9.7%	7.4%	8.7%	7.9%	8.4%
レイプ（強姦）など女性への性暴力	18.2%	18.1%	18.6%	18.7%	16.2%
夫婦間の暴力や交際相手からの暴力 （ドメスティック・バイオレンス）	14.2%	13.2%	14.4%	14.9%	13.6%
職場や学校などにおける性的いやがらせ （セクシュアル・ハラスメント）	16.6%	15.5%	14.6%	14.3%	13.8%
女性のヌード写真を掲載した雑誌、 アダルトDVDなど	4.0%	4.2%	4.0%	5.7%	6.1%
その他	0.7%	1.2%	1.5%	0.7%	0.7%
特にない	2.7%	1.9%	2.5%	1.8%	2.6%
無回答	0.7%	0.0%	0.4%	0.1%	1.4%

問9 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

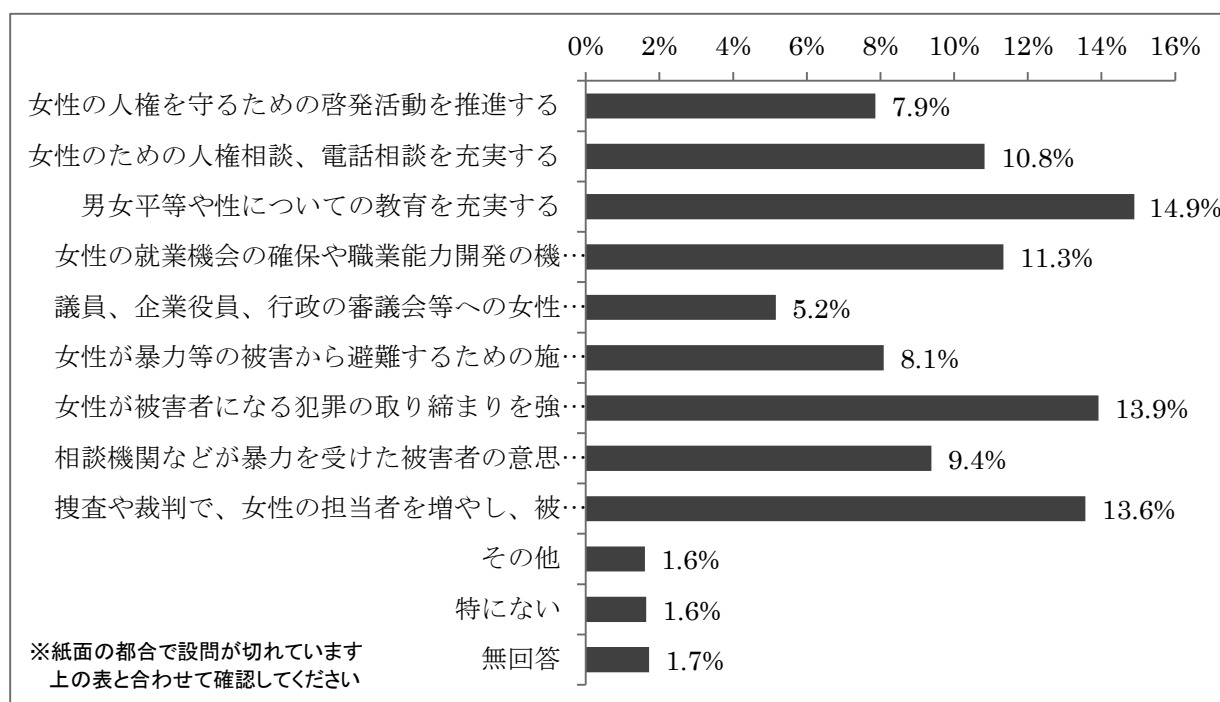
(○は3つまで)

【全体】

女性の人権を守るために必要なこととして、「男女平等や性についての教育を充実する」が14.9%で最も高く、次いで「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が13.9%、「捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする」が13.6%と続いている。

	回答数	構成比
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	201	7.9%
女性のための人権相談、電話相談を充実する	277	10.8%
男女平等や性についての教育を充実する	381	14.9%
女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会を充実する	290	11.3%
議員、企業役員、行政の審議会等への女性の参画を促進する	132	5.2%
女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する	207	8.1%
女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	356	13.9%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	240	9.4%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする	347	13.6%
その他	41	1.6%
特にない	42	1.6%
無回答	44	1.7%

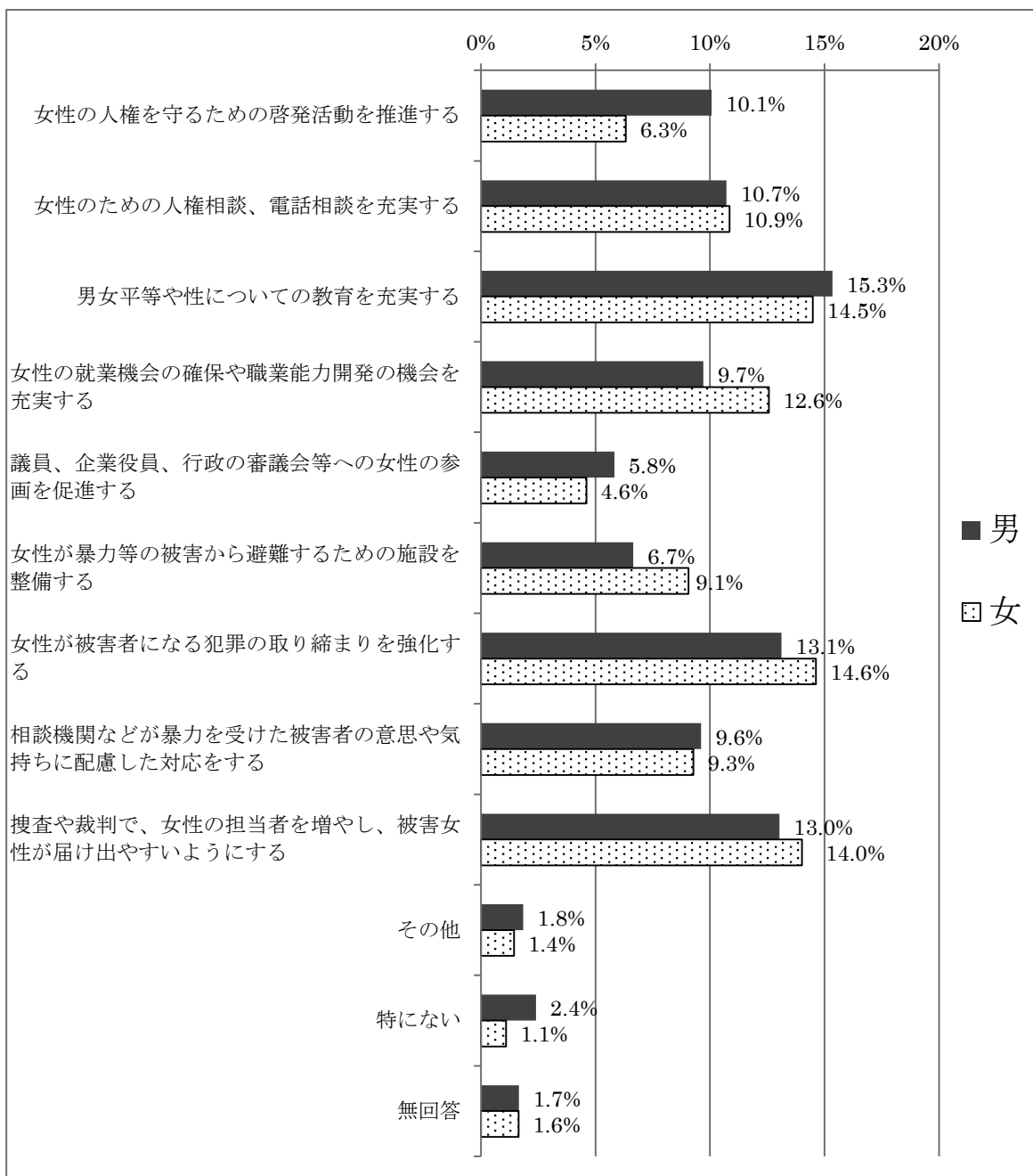
(回答数合計 2,558)



II 調査結果の分析

【性別】

男性は女性より「女性の人権を守るための啓発活動を推進する」(男性 10.1% 女性 6.3%) が 3.8 ポイント、「議員、企業役員、行政の審議会等への女性の参画を促進する」(男性 5.8% 女性 4.6%) が 1.2 ポイント高く、女性は男性より「女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会を充実する」(女性 12.6% 男性 9.7%) が 2.9 ポイント、「女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する」(女性 9.1% 男性 6.7%) が 2.4 ポイント高くなっている。



(回答数：男性 1,082・女性 1,456)

【年代別】

各年代において「男女平等や性についての教育を充実する」、「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」、「捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする」の割合が高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,530)	20歳代 (344)	30歳代 (413)	40歳代 (448)	50歳代 (593)	60歳 以上 (732)
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	5.5%	5.6%	5.4%	8.4%	11.6%
女性のための人権相談、電話相談を充実する	9.6%	8.5%	9.2%	12.8%	12.0%
男女平等や性についての教育を充実する	14.0%	14.5%	16.1%	15.9%	14.3%
女性の就業機会の確保や職業能力開発の機会を充実する	12.8%	11.6%	11.8%	10.5%	10.9%
議員、企業役員、行政の審議会等への女性の参画を促進する	4.1%	6.3%	4.2%	5.2%	5.6%
女性が暴力等の被害から避難するための施設を整備する	7.8%	7.7%	8.9%	10.1%	6.1%
女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	14.2%	14.3%	16.3%	13.0%	12.6%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	9.3%	8.5%	9.6%	8.1%	10.8%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする	16.3%	15.7%	13.6%	13.0%	11.5%
その他	2.3%	3.6%	1.6%	1.2%	0.5%
特にない	3.2%	1.2%	2.0%	0.8%	1.6%
無回答	0.9%	2.4%	1.3%	1.0%	2.3%

II 調査結果の分析

3 子どもの人権

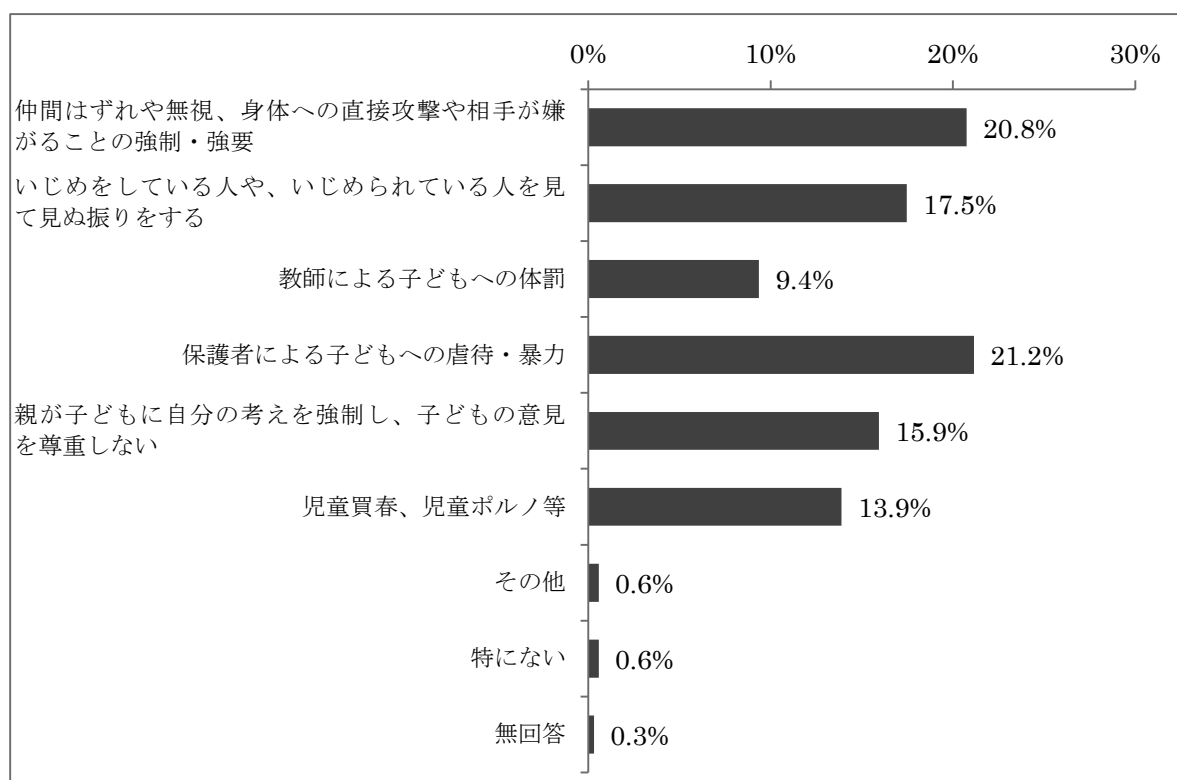
問10 あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「保護者による子どもへの虐待・暴力」が21.2%で最も高く、次いで「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」が20.8%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」が17.5%と続いている。

	回答数	合計
仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要	732	20.8%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする	616	17.5%
教師による子どもへの体罰	330	9.4%
保護者による子どもへの虐待・暴力	746	21.2%
親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見を尊重しない	562	15.9%
児童買春、児童ポルノ等	490	13.9%
その他	20	0.6%
特にない	20	0.6%
無回答	11	0.3%

(回答数合計 3,527)

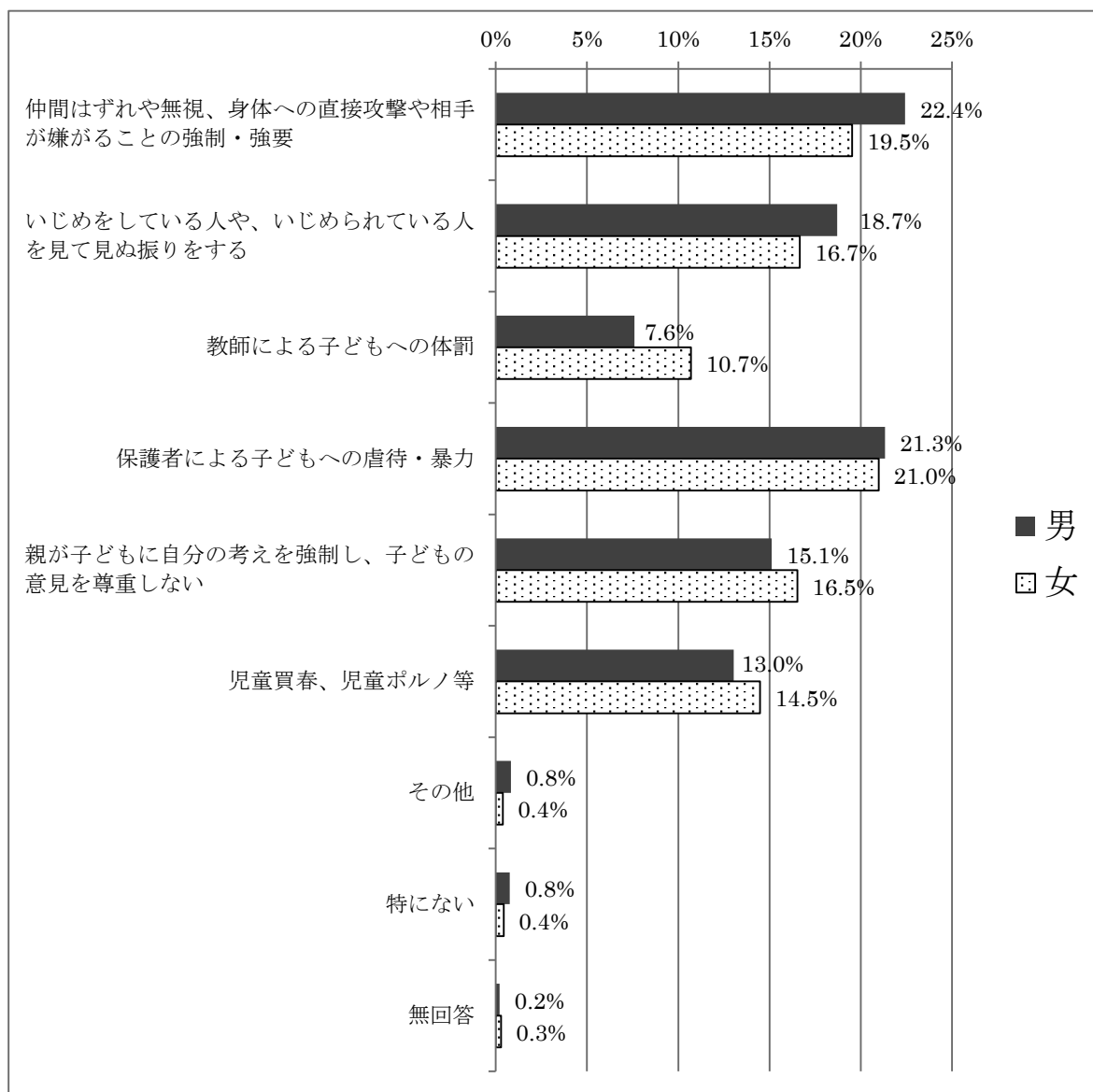


【性別】

男女ともに「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」、「保護者による子どもへの虐待・暴力」の割合が高い。

男性は女性より「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」（男性 22.4% 女性 19.5%）が 2.9 ポイント、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」（男性 18.7% 女性 16.7%）が 2.0 ポイント高くなっている。

女性は男性より「教師による子どもへの体罰」（女性 10.7% 男性 7.6%）が 3.1 ポイント、「児童買春・児童ポルノ等」（女性 14.5% 男性 13.0%）が 1.5 ポイント、「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見を尊重しない」（女性 16.5% 男性 15.1%）が 1.4 ポイント高くなっている。



(回答数：男性 1,449・女性 2,058)

II 調査結果の分析

【年代別】

各年代において「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることの強制・強要」、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」、「保護者による子どもへの虐待・暴力」、「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見を尊重しない」、「児童買春、児童ポルノ等」の割合が高くなっている。

年 代 (回答数：合計 3,490)	20歳代 (481)	30歳代 (620)	40歳代 (625)	50歳代 (802)	60歳 以上 (962)
仲間はずれや無視、身体への直接 攻撃や相手が嫌がることの強制・ 強要	18.1%	19.8%	21.4%	20.6%	22.2%
いじめをしている人や、いじめら れている人を見て見ぬ振りをする	15.0%	16.1%	17.8%	17.2%	19.5%
教師による子どもへの体罰	10.2%	10.6%	9.6%	8.5%	8.9%
保護者による子どもへの虐待・暴 力	22.2%	19.5%	19.4%	22.4%	21.7%
親が子どもに自分の考えを強制 し、子どもの意見を尊重しない	20.0%	17.4%	15.5%	15.0%	13.9%
児童買春、児童ポルノ等	13.3%	14.8%	14.6%	15.1%	12.3%
その他	0.6%	1.0%	0.6%	0.9%	0.0%
特にない	0.6%	0.5%	0.6%	0.2%	0.8%
無回答	0.0%	0.2%	0.5%	0.1%	0.5%

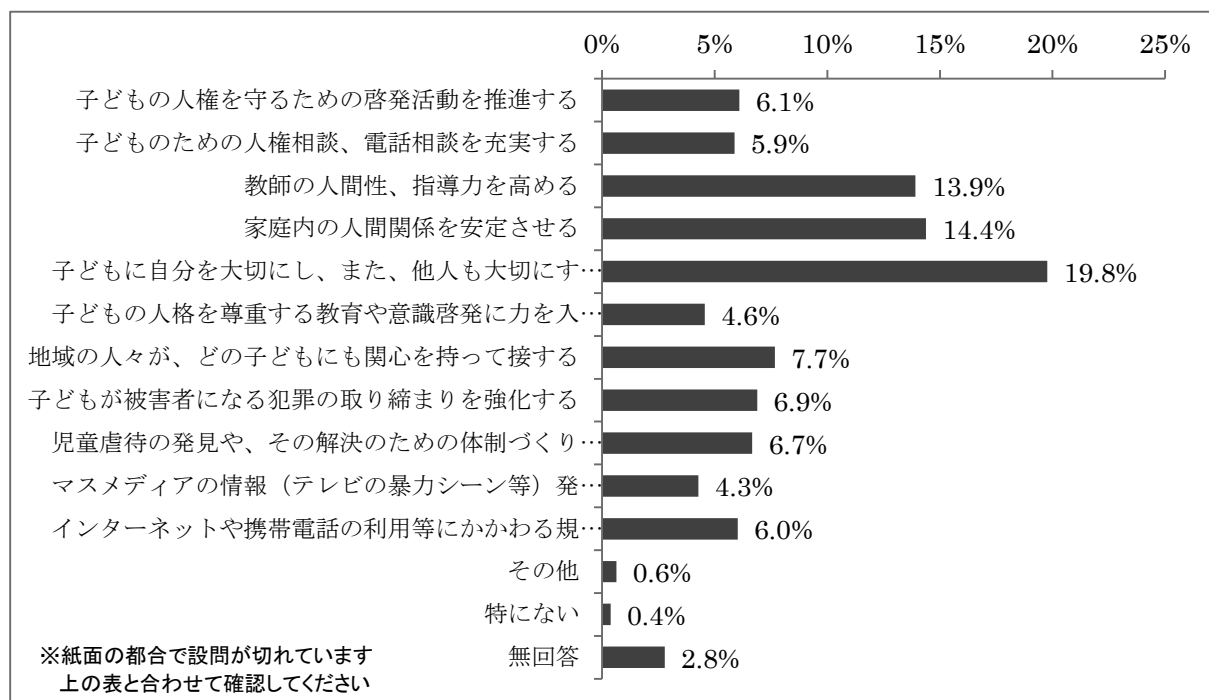
問11 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

子どもの人権を守るために必要なこととして、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にす思いやりを教える」が19.8%で最も高く、次いで「家庭内の人間関係を安定させる」が14.4%、「教師の人間性、指導力を高める」が13.9%と続いている。

	回答数	構成比
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	171	6.1%
子どものための人権相談、電話相談を充実する	165	5.9%
教師の人間性、指導力を高める	390	13.9%
家庭内の人間関係を安定させる	403	14.4%
子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にす思いやりを教える	554	19.8%
子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる	128	4.6%
地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する	215	7.7%
子どもが被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	193	6.9%
児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする	187	6.7%
マスメディアの情報（テレビの暴力シーン等）発信のあり方を見直す	120	4.3%
インターネットや携帯電話の利用等にかかわる規制を強化する	169	6.0%
その他	18	0.6%
特にない	11	0.4%
無回答	78	2.8%

(回答数合計 2,802)



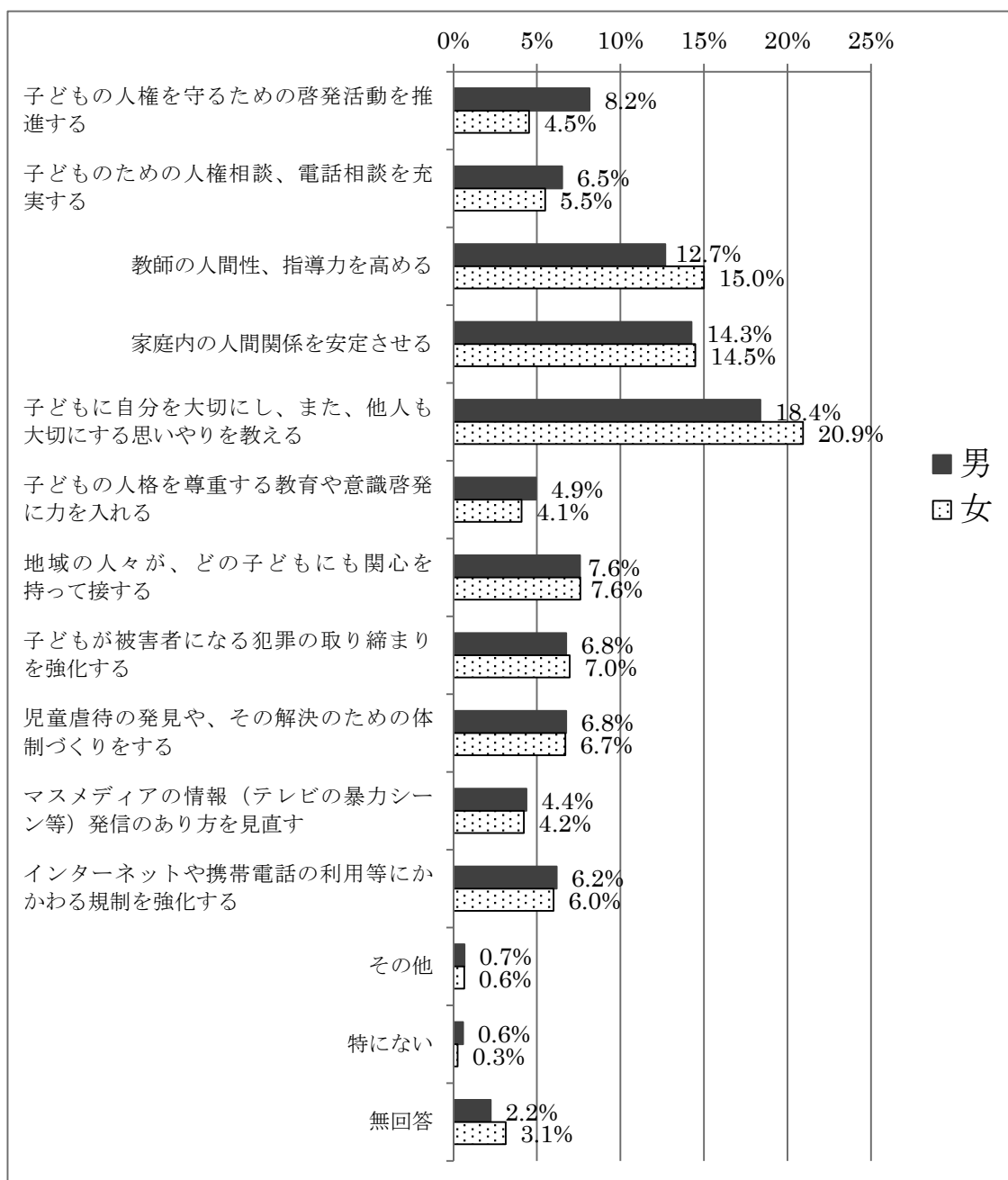
II 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」の割合が最も高くなっている。

男性は女性より「子どもの人権を守るための啓発活動を推進する」（男性 8.2% 女性 4.5%）が 3.7 ポイント高くなっている。

それに対し、女性は男性より「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」（女性 20.9% 男性 18.4%）が 2.5 ポイント、「教師の人間性、指導力を高める」（女性 15.0% 男性 12.7%）が 2.3 ポイント高くなっている。



(回答数：男性 1,214・女性 1,567)

【年代別】

各年代において「教師の人間性、指導力を高める」、「家庭内の人間関係を安定させる」、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」の割合が高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,767)	20歳代 (359)	30歳代 (474)	40歳代 (496)	50歳代 (633)	60歳 以上 (805)
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	4.5%	5.3%	4.8%	6.5%	7.8%
子どものための人権相談、電話相談を充実する	6.1%	5.7%	4.2%	7.3%	6.0%
教師の人間性、指導力を高める	13.6%	14.3%	12.5%	14.5%	14.0%
家庭内の人間関係を安定させる	20.9%	15.6%	13.5%	12.6%	12.3%
子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える	15.6%	17.7%	21.6%	19.3%	22.2%
子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる	2.5%	5.1%	5.2%	4.9%	4.5%
地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する	8.1%	9.1%	6.7%	7.1%	7.7%
子どもが被害者になる犯罪の取り締まりを強化する	7.0%	7.2%	10.1%	6.0%	5.3%
児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする	7.5%	6.5%	6.7%	7.3%	6.1%
マスメディアの情報(テレビの暴力シーン等)発信のあり方を見直す	3.1%	2.1%	4.0%	4.4%	6.2%
インターネットや携帯電話の利用等にかかわる規制を強化する	5.8%	7.2%	6.3%	6.8%	4.8%
その他	0.8%	1.5%	0.6%	0.6%	0.1%
特にない	0.6%	0.2%	0.8%	0.2%	0.4%
無回答	3.9%	2.5%	3.0%	2.5%	2.5%

II 調査結果の分析

4 高齢者の人権

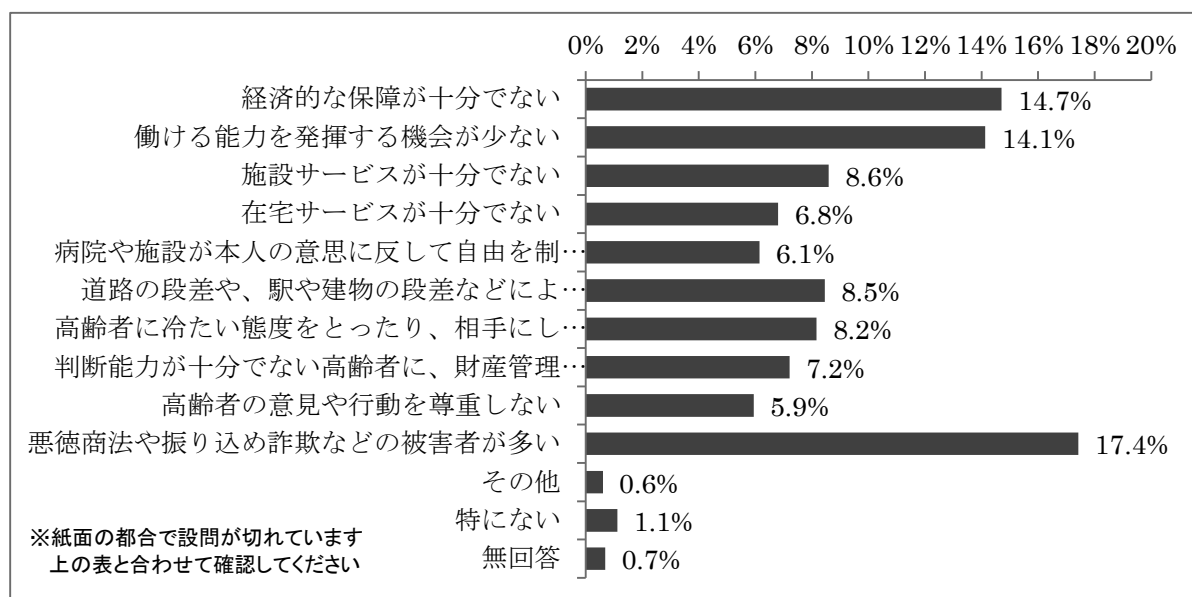
問12 あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

【全体】

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」が17.4%で最も高く、次いで「経済的な保障が十分でない」が14.7%、「働ける能力を発揮する機会が少ない」が14.1%と続いている。

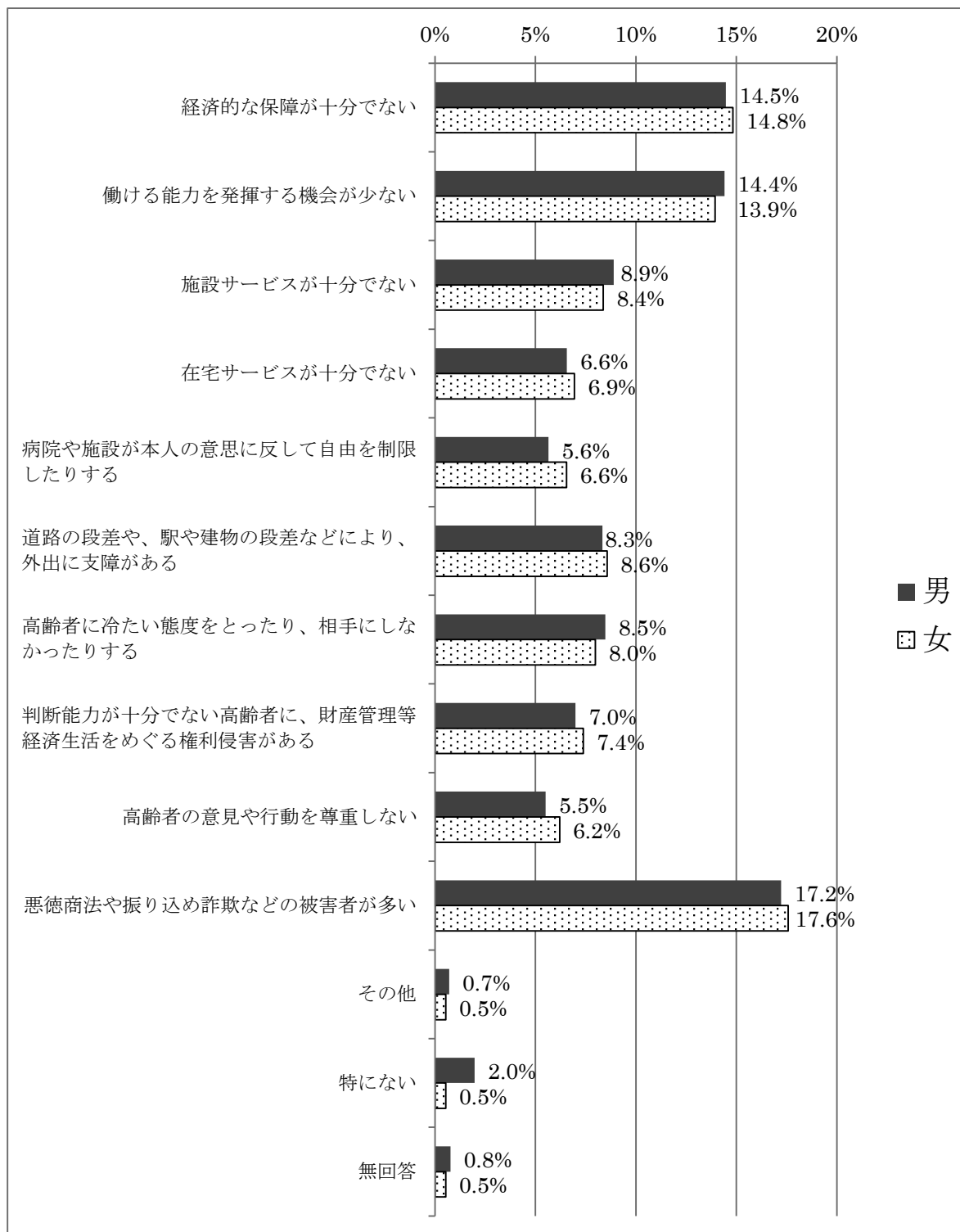
	回答数	構成比
経済的な保障が十分でない	510	14.7%
働ける能力を発揮する機会が少ない	490	14.1%
施設サービスが十分でない	298	8.6%
在宅サービスが十分でない	236	6.8%
病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	213	6.1%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	293	8.5%
高齢者に冷たい態度をとったり、相手にしなかったりする	283	8.2%
判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	250	7.2%
高齢者の意見や行動を尊重しない	206	5.9%
悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い	604	17.4%
その他	21	0.6%
特にない	39	1.1%
無回答	24	0.7%

(回答数合計 3,467)



【性別】

男女ともに「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害が多い」（男性 17.2% 女性 17.6%）、
「経済的な保障が十分でない」（男性 14.5% 女性 14.8%）、「働ける能力を發揮する機会が
少ない」（男性 14.4% 女性 13.9%）の割合が高くなっており、男女で大きく違う点はない。



(回答数：男性 1,416・女性 2,030)

II 調査結果の分析

【年代別】

各年代において「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害が多い」、「経済的な保障が十分でない」、「働ける能力を発揮する機会が少ない」の割合が高くなっている。

年 代 (回答数：合計 3,431)	20歳代 (482)	30歳代 (601)	40歳代 (586)	50歳代 (857)	60歳 以上 (905)
経済的な保障が十分でない	11.4%	11.5%	16.4%	15.6%	16.1%
働ける能力を発揮する機会が少ない	12.7%	14.5%	14.7%	16.0%	12.5%
施設サービスが十分でない	7.9%	7.5%	8.5%	9.6%	9.1%
在宅サービスが十分でない	6.4%	6.7%	6.8%	7.7%	6.4%
病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	7.7%	6.8%	5.1%	6.0%	6.0%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	9.5%	9.0%	6.1%	9.9%	7.7%
高齢者に冷たい態度をとったり、相手にしなかったりする	9.3%	8.5%	8.5%	7.1%	8.1%
判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	8.1%	9.3%	8.0%	5.3%	7.0%
高齢者の意見や行動を尊重しない	8.3%	5.8%	4.9%	4.7%	6.3%
悪徳商法や振り込め詐欺などの被害が多い	14.9%	18.1%	18.3%	16.9%	18.1%
その他	0.4%	1.2%	1.2%	0.5%	0.1%
特にない	2.9%	1.2%	0.9%	0.6%	0.9%
無回答	0.4%	0.0%	0.5%	0.2%	1.8%

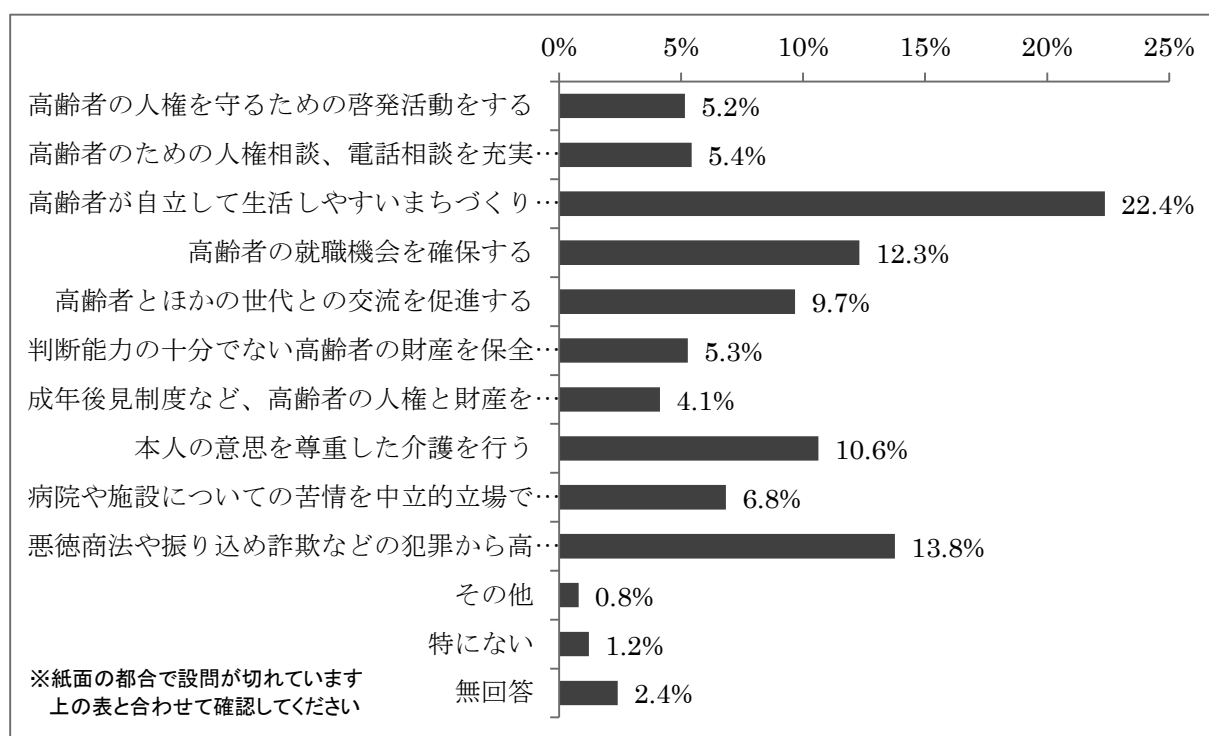
問13 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が22.4%で最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が13.8%、「高齢者の就職機会を確保する」が12.3%と続いている。

	回答数	構成比
高齢者の人権を守るための啓発活動をする	135	5.2%
高齢者のための人権相談、電話相談を充実する	142	5.4%
高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する	585	22.4%
高齢者の就職機会を確保する	322	12.3%
高齢者とほかの世代との交流を促進する	253	9.7%
判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	138	5.3%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	108	4.1%
本人の意思を尊重した介護を行う	278	10.6%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	179	6.8%
悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る	360	13.8%
その他	21	0.8%
特になし	32	1.2%
無回答	63	2.4%

(回答数合計 2,616)

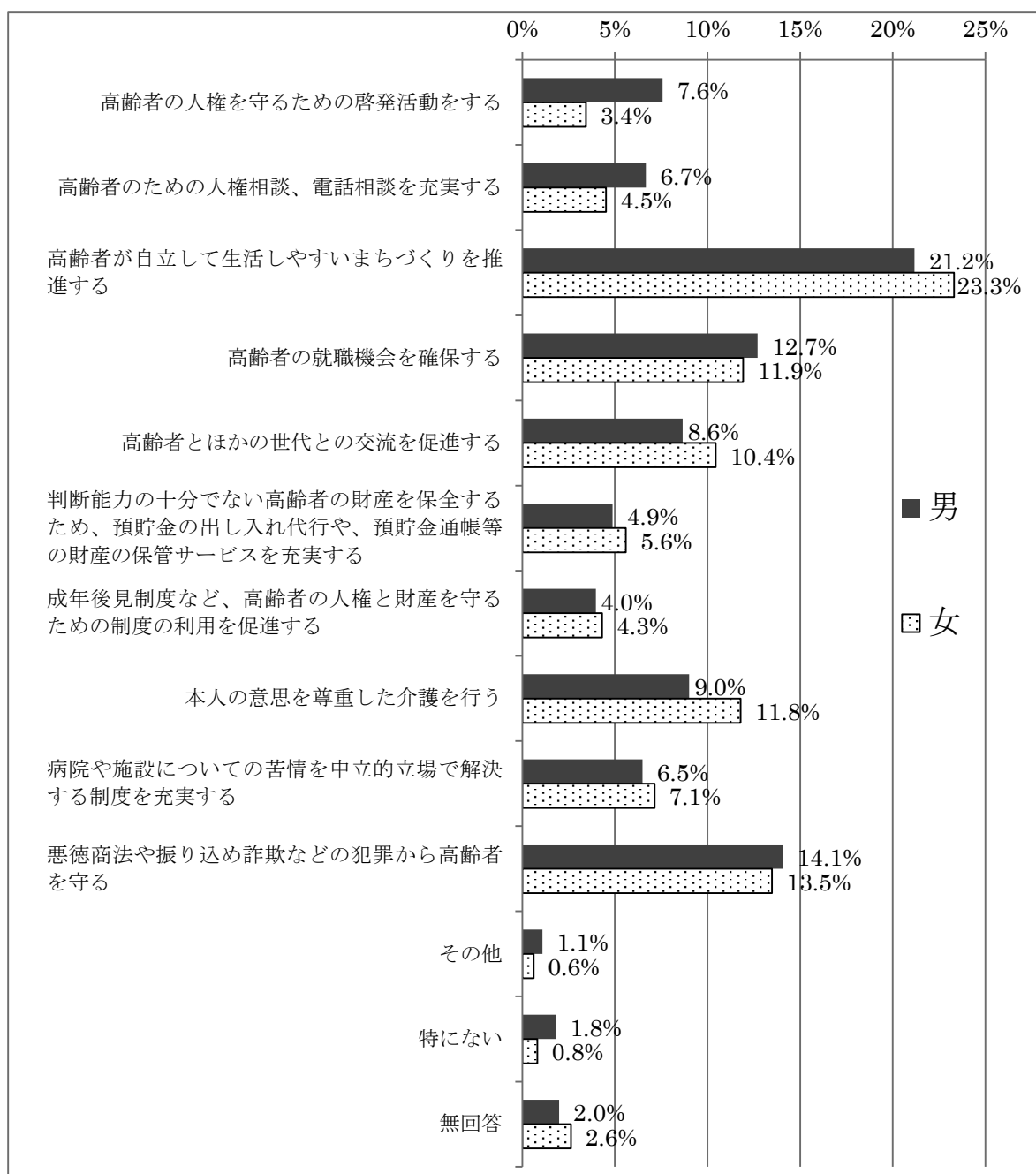


II 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」（男性 21.2% 女性 23.3%）、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」（男性 14.1% 女性 13.5%）、「高齢者の就職機会を確保する」（男性 12.7% 女性 11.9%）の割合が高くなっている。

男性は女性より「高齢者の人権を守るための啓発活動をする」（男性 7.6% 女性 3.4%）が 4.2 ポイント高くなっている。



(回答数：男性 1,110・女性 1,484)

【年代別】

各年代において「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」の割合が最も高く、「高齢者の就職機会を確保する」、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」も高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,581)	20歳代 (331)	30歳代 (434)	40歳代 (446)	50歳代 (617)	60歳 以上 (753)
高齢者の人権を守るための啓発活動をする	1.8%	3.5%	4.0%	4.9%	8.6%
高齢者のための人権相談、電話相談を充実する	4.5%	3.9%	4.5%	6.2%	6.8%
高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する	21.1%	21.4%	20.9%	23.2%	23.6%
高齢者の就職機会を確保する	13.3%	14.1%	13.5%	13.8%	8.6%
高齢者とほかの世代との交流を促進する	11.2%	11.3%	8.7%	9.4%	8.8%
判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	4.5%	4.4%	5.2%	5.5%	6.1%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	5.4%	5.1%	3.4%	4.1%	3.7%
本人の意思を尊重した介護を行う	11.2%	9.0%	10.1%	9.9%	12.2%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	6.9%	7.8%	7.2%	7.5%	5.3%
悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る	12.4%	15.7%	17.5%	12.5%	12.2%
その他	1.2%	1.2%	1.3%	0.6%	0.3%
特になし	4.2%	0.7%	1.1%	0.8%	0.7%
無回答	2.1%	2.1%	2.7%	1.8%	3.1%

II 調査結果の分析

5 障害のある人の人権

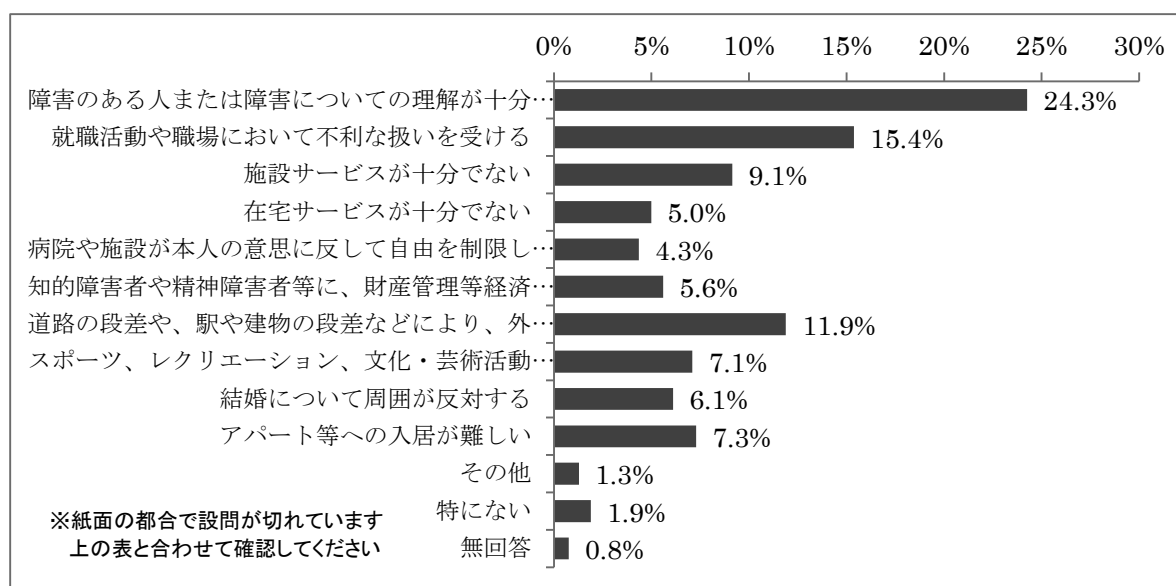
問14 あなたは、障害のある人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【全体】

障害のある人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障害のある人または障害についての理解が十分でない」が24.3%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が15.4%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある」が11.9%と続いている。

	回答数	構成比
障害のある人または障害についての理解が十分でない	759	24.3%
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	481	15.4%
施設サービスが十分でない	286	9.1%
在宅サービスが十分でない	156	5.0%
病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	136	4.3%
知的障害者や精神障害者等に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	175	5.6%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	372	11.9%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ない	222	7.1%
結婚について周囲が反対する	191	6.1%
アパート等への入居が難しい	228	7.3%
その他	40	1.3%
特にない	59	1.9%
無回答	24	0.8%

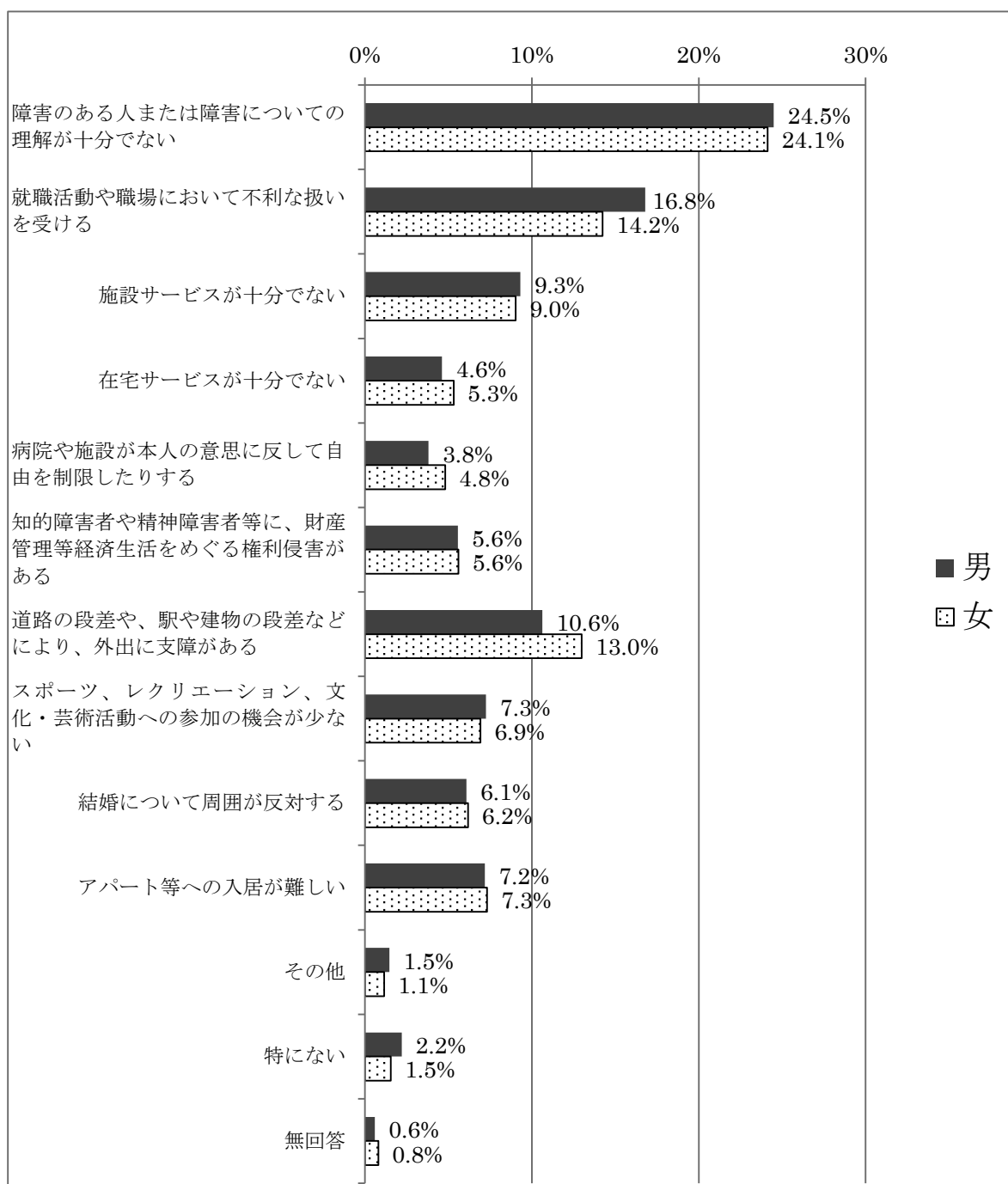
(回答数合計 3,129)



【性別】

男女ともに「障害のある人または障害についての理解が十分でない」（男性 24.5% 女性 24.1%）の割合が最も高く、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある」と続いている。

男性は女性より「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」（男性 16.8% 女性 14.2%）が 2.6 ポイント高く、女性は男性より「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある」（女性 13.0% 男性 10.6%）が 2.4 ポイント高くなっている。



(回答数：男性 1,364・女性 1,749)

II 調査結果の分析

【年代別】

各年代において「障害のある人または障害についての理解が十分でない」の割合が高くなっている。

また、20歳代において「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が他の年代と比較して高くなっている。

年 代 (回答数：合計 3,100)	20歳代 (441)	30歳代 (549)	40歳代 (504)	50歳代 (783)	60歳 以上 (823)
障害のある人または障害についての理解が十分でない	21.1%	25.0%	28.4%	22.6%	24.4%
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	17.9%	15.3%	15.9%	14.0%	14.6%
施設サービスが十分でない	7.7%	7.1%	8.7%	11.5%	9.5%
在宅サービスが十分でない	4.3%	4.2%	5.8%	5.9%	4.7%
病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	5.2%	4.6%	4.8%	4.0%	4.0%
知的障害者や精神障害者等に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	5.7%	6.2%	5.4%	7.0%	4.0%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	11.1%	11.3%	8.5%	13.3%	13.2%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ない	6.3%	7.1%	4.6%	7.9%	8.5%
結婚について周囲が反対する	8.4%	7.7%	6.5%	4.6%	5.1%
アパート等への入居が難しい	8.6%	8.2%	7.7%	6.9%	6.1%
その他	1.4%	2.4%	1.6%	0.8%	0.9%
特にない	2.0%	1.1%	1.8%	1.4%	2.7%
無回答	0.2%	0.0%	0.4%	0.1%	2.3%

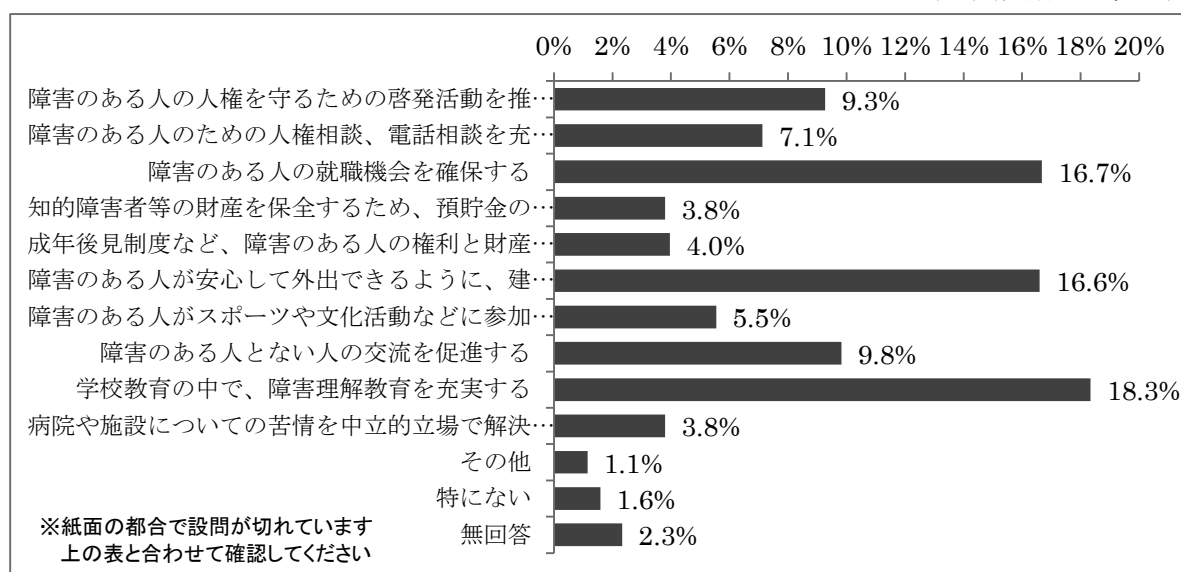
問15 あなたは、障害のある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

障害のある人の人権を守るために必要なこととして、「学校教育の中で、障害理解教育を充実する」が18.3%で最も高く、次いで「障害のある人の就職機会を確保する」が16.7%、「障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が16.6%、「障害のある人とない人の交流を促進する」が9.8%と続いている。

	回答数	構成比
障害のある人の人権を守るための啓発活動を推進する	234	9.3%
障害のある人のための人権相談、電話相談を充実する	180	7.1%
障害のある人の就職機会を確保する	421	16.7%
知的障害者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	96	3.8%
成年後見制度など、障害のある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	100	4.0%
障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	419	16.6%
障害のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	140	5.5%
障害のある人とない人の交流を促進する	248	9.8%
学校教育の中で、障害理解教育を充実する	463	18.3%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	96	3.8%
その他	29	1.1%
特にない	40	1.6%
無回答	59	2.3%

(回答数合計 2,525)

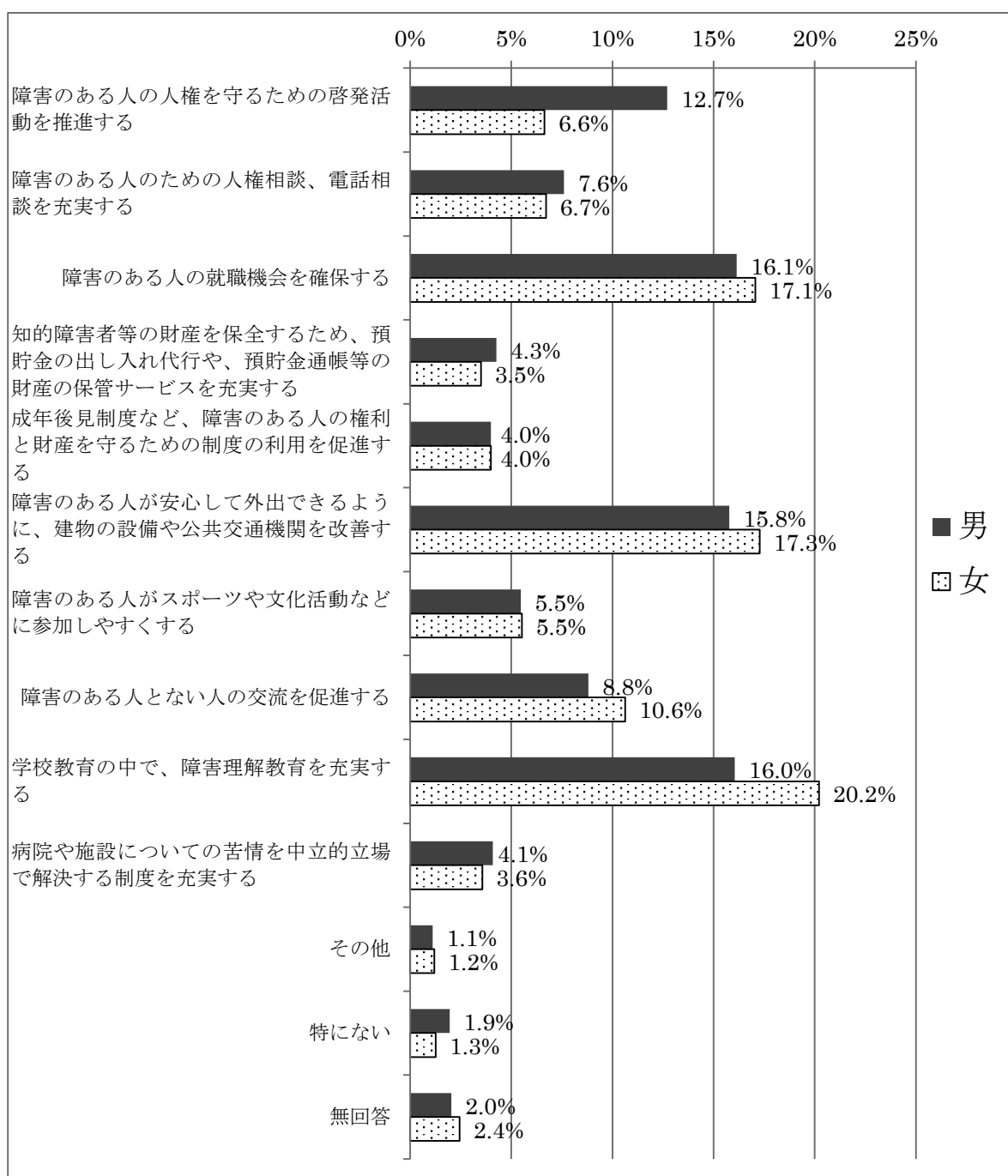


II 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「学校教育の中で、障害理解教育を充実する」、「障害のある人の就職機会を確保する」、「障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」の割合が高くなっている。

男性は女性より「障害のある人の人権を守るための啓発活動を推進する」(男性 12.7% 女性 6.6%) が 6.1 ポイント高い。女性は男性より「学校教育の中で、障害理解教育を充実する」(女性 20.2% 男性 16.0%) が 4.2 ポイント高くなっている。



(回答数：男性 1,078・女性 1,430)

5 障害のある人の人権

【年代別】

各年代において「学校教育の中で、障害理解教育を充実する」、「障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」、「障害のある人の就職機会を確保する」の割合が高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,493)	20歳代 (322)	30歳代 (405)	40歳代 (435)	50歳代 (611)	60歳 以上 (720)
障害のある人の人権を守るための啓発活動を推進する	7.1%	6.9%	8.5%	9.5%	11.8%
障害のある人のための人権相談、電話相談を充実する	4.3%	3.7%	6.4%	7.9%	10.1%
障害のある人の就職機会を確保する	17.4%	17.8%	16.6%	16.9%	15.6%
知的障害者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	2.2%	3.0%	4.1%	4.4%	4.4%
成年後見制度など、障害のある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	4.3%	3.5%	4.1%	3.9%	4.0%
障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	16.5%	15.3%	15.6%	17.5%	17.1%
障害のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	5.6%	6.2%	4.6%	6.1%	5.3%
障害のある人とない人の交流を促進する	12.1%	11.9%	9.7%	9.7%	8.1%
学校教育の中で、障害理解教育を充実する	20.2%	21.7%	19.5%	17.3%	15.6%
病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	1.9%	5.2%	5.3%	4.1%	2.8%
その他	3.1%	1.7%	1.1%	0.5%	0.6%
特にない	2.8%	1.5%	2.1%	0.8%	1.4%
無回答	2.5%	1.7%	2.3%	1.5%	3.3%

II 調査結果の分析

6 同和問題（部落差別）

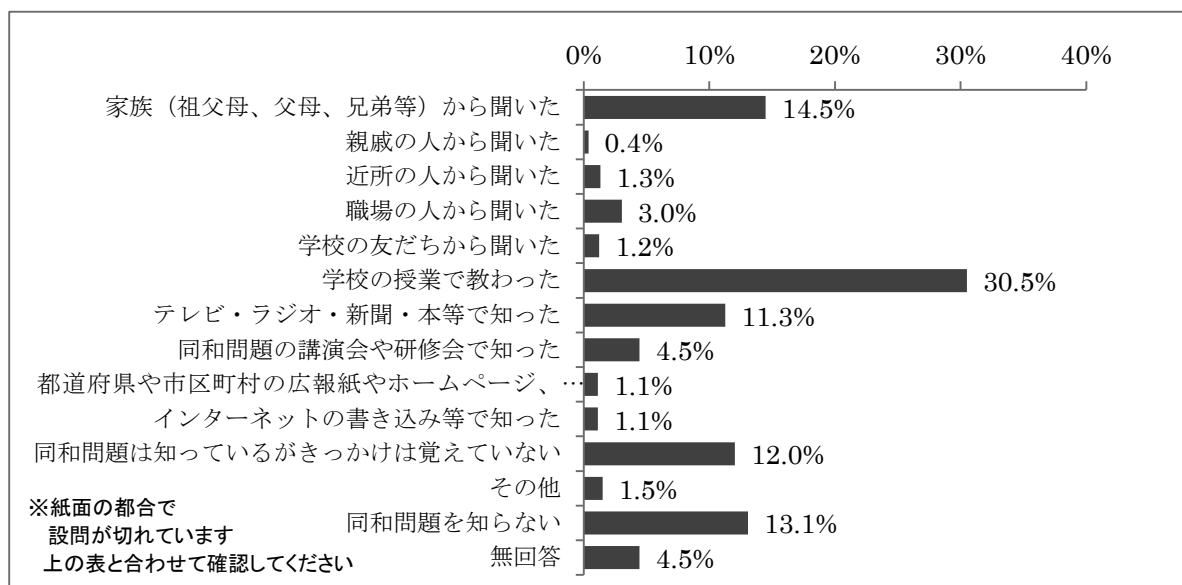
問16 あなたは、同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、何か
らですか。（○は1つ）

【全体】

同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が30.5%で最も高く、次いで「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が14.5%、同和問題を知らないが13.1%と続いている。

	回答者数	構成比
家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた	153人	14.5%
親戚の人から聞いた	4人	0.4%
近所の人から聞いた	14人	1.3%
職場の人から聞いた	32人	3.0%
学校の友だちから聞いた	13人	1.2%
学校の授業で教わった	322人	30.5%
テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	119人	11.3%
同和問題の講演会や研修会で知った	47人	4.5%
都道府県や市区町村の広報紙やホームページ、冊子等で知った	12人	1.1%
インターネットの書き込み等で知った	12人	1.1%
同和問題は知っているがきっかけは覚えていない	127人	12.0%
その他	16人	1.5%
同和問題を知らない	138人	13.1%
無回答	47人	4.5%

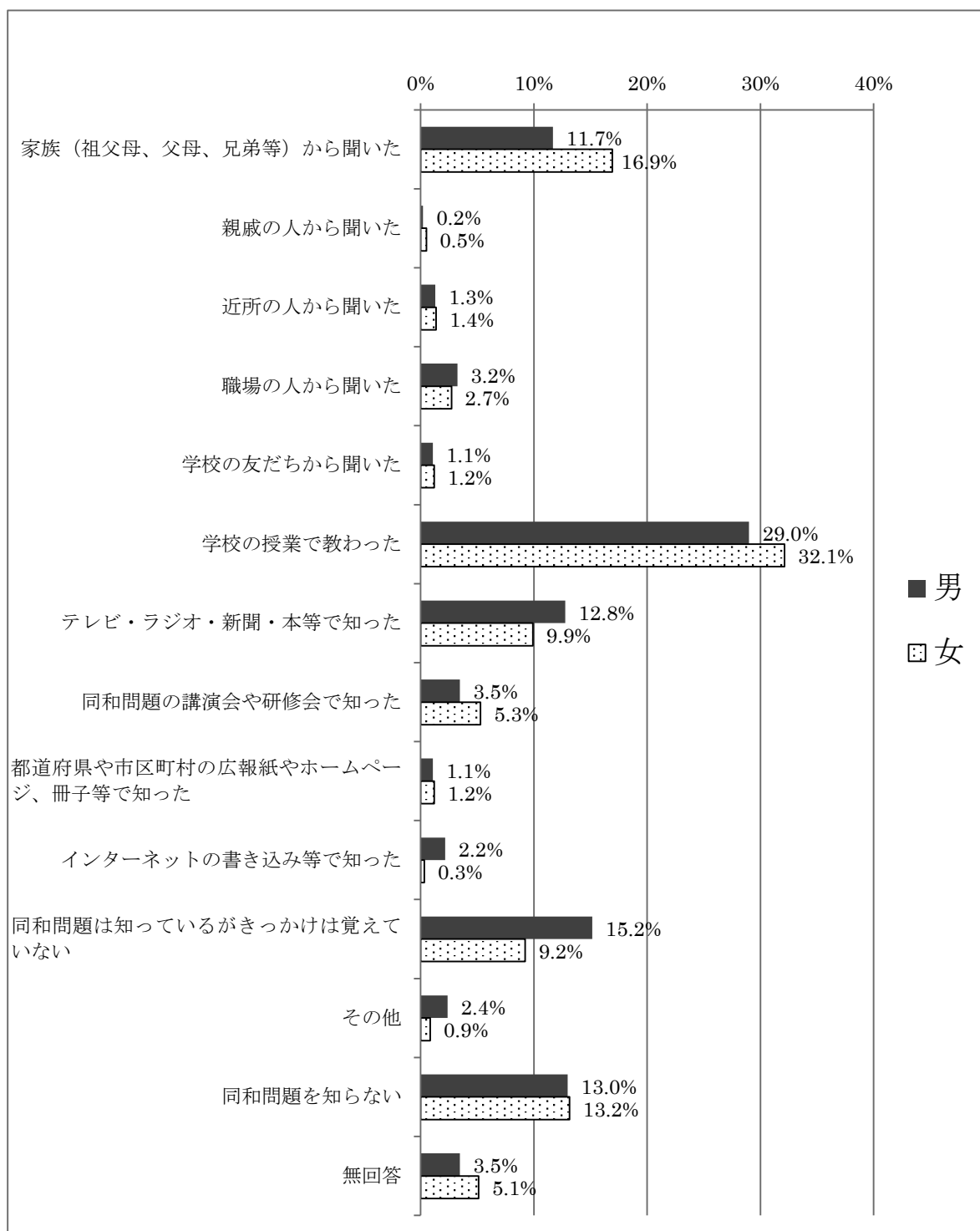
（回答者数合計 1,056人）



【性別】

男性は「学校の授業で教わった」が29.0%で最も高く、次いで「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」が15.2%と続いている。

女性は「学校の授業で教わった」が 32.1%で最も高く、次いで「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が 16.9%と続いている。



(回答者数：男性 462 人・女性 585 人)

II 調査結果の分析

【年代別】

「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」では60歳以上で18.2%と高く、年代が下がるにしたがって低くなっている。

「学校の授業で教わった」では20歳代から50歳代まで30%を超えているが、60歳以上では5.7%と低くなっている。

年 代 (回答数：合計 1,043)	20歳代 (142)	30歳代 (179)	40歳代 (188)	50歳代 (238)	60歳 以上 (296)
家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた	9.9%	10.6%	13.8%	16.0%	18.2%
親戚の人から聞いた	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.0%
近所の人から聞いた	0.0%	0.0%	1.1%	1.7%	2.7%
職場の人から聞いた	1.4%	1.1%	4.8%	2.9%	4.1%
学校の友だちから聞いた	1.4%	0.0%	1.1%	2.5%	0.7%
学校の授業で教わった	35.9%	53.1%	43.6%	31.1%	5.7%
テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	7.0%	5.0%	5.9%	13.4%	18.6%
同和問題の講演会や研修会で知った	0.7%	1.1%	2.1%	7.6%	7.4%
都道府県や市区町村の広報紙やホームページ、冊子等で知った	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	3.4%
インターネットの書き込み等で知った	2.1%	2.2%	1.6%	0.4%	0.3%
同和問題は知っているがきっかけは覚えていない	9.9%	8.9%	9.0%	9.7%	18.6%
その他	1.4%	1.7%	0.0%	1.7%	2.4%
同和問題を知らない	26.1%	13.4%	11.7%	10.5%	9.5%
無回答	4.2%	2.8%	4.3%	2.1%	7.4%

◎問16で「同和問題を知らない（無回答含む）」以外を回答した人に対して

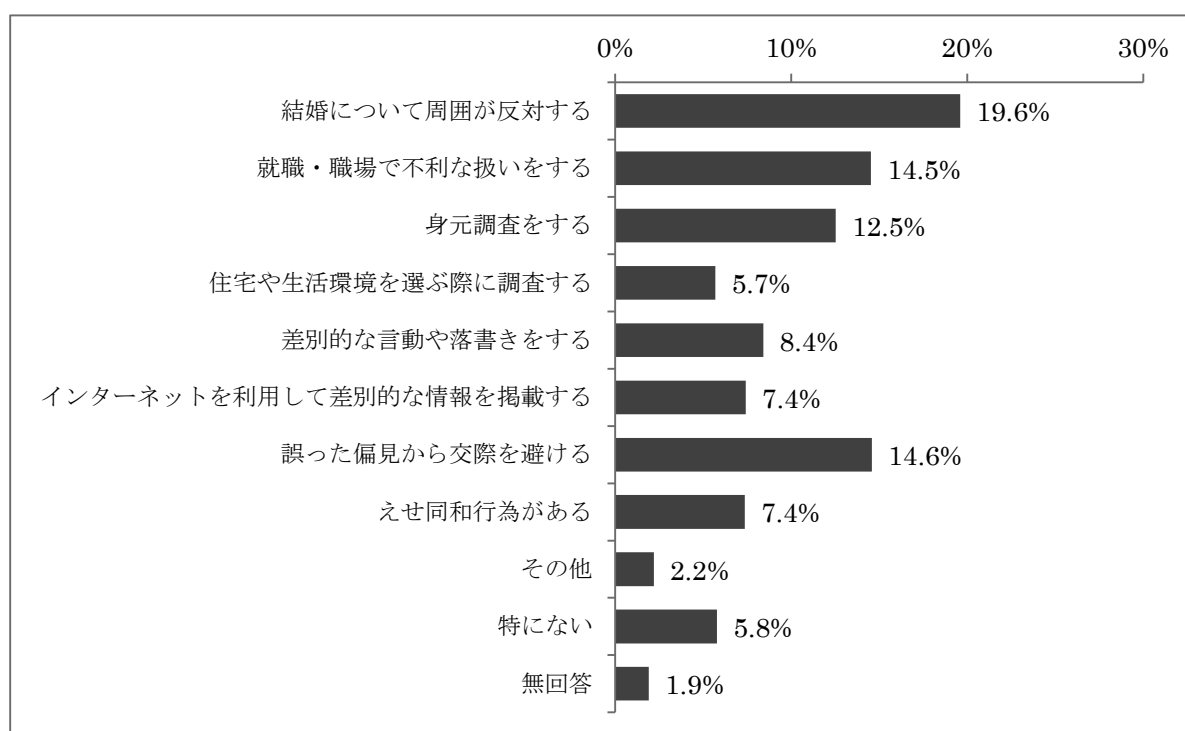
問16-1 あなたは、同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。（該当するものすべてに○）

【全体】

同和問題（部落差別）を知っている871人に現在起きている問題を聞いたところ、「結婚について周囲が反対する」が19.6%で最も高く、次いで「誤った偏見から交際を避ける」が14.6%、「就職・職場で不利な扱いをする」が14.5%、「身元調査をする」が12.5%と続いている。

	回答数	構成比
結婚について周囲が反対する	410	19.6%
就職・職場で不利な扱いをする	304	14.5%
身元調査をする	262	12.5%
住宅や生活環境を選ぶ際に調査する	119	5.7%
差別的な言動や落書きをする	176	8.4%
インターネットを利用して差別的な情報を掲載する	155	7.4%
誤った偏見から交際を避ける	305	14.6%
えせ同和行為がある	154	7.4%
その他	46	2.2%
特にない	121	5.8%
無回答	40	1.9%

(回答数合計 2,092)



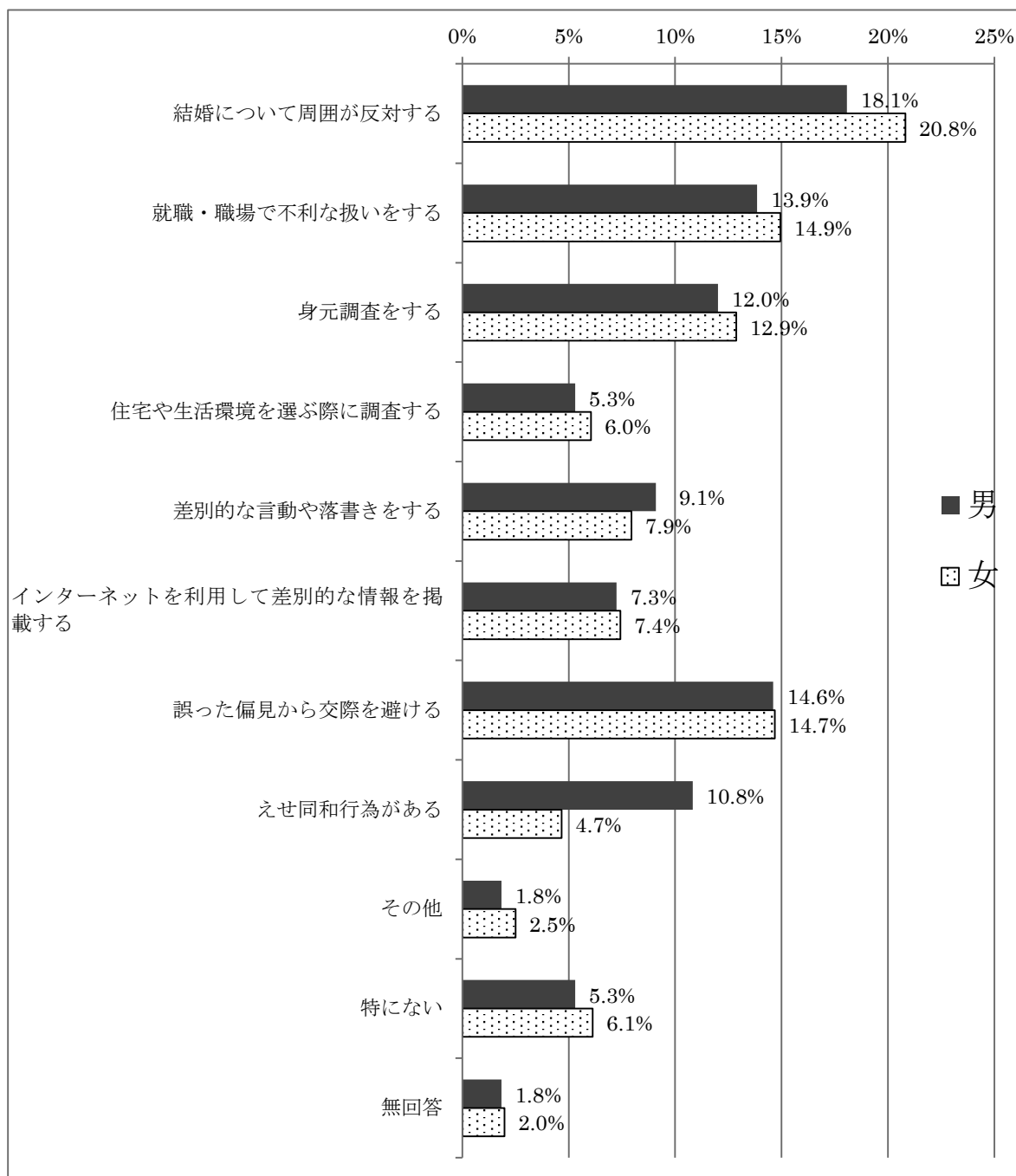
II 調査結果の分析

【性別】

男性、女性とも「結婚について周囲が反対する」（男性18.1% 女性20.8%）が最も高くなっている。

次いで男性は「誤った偏見から交際を避ける」が14.6%、「就職・職場で不利な扱いをする」が13.9%と続いている。

女性は「就職・職場で不利な扱いをする」が14.9%、「誤った偏見から交際を避ける」が14.7%と続いている。



(回答数：男性 924・女性 1,158)

【年代別】

各年代とも「結婚について周囲が反対する」が最も高くなっている。

「誤った偏見から交際を避ける」では、30歳代が16.6%で最も高くなっている。

「就職・職場で不利な扱いをする」では、20歳代が18.9%で最も高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,074)	20歳代 (254)	30歳代 (398)	40歳代 (372)	50歳代 (539)	60歳 以上 (511)
結婚について周囲が反対する	20.1%	18.1%	19.4%	20.4%	20.0%
就職・職場で不利な扱いをする	18.9%	12.6%	14.2%	16.3%	11.9%
身元調査をする	9.8%	12.6%	13.7%	13.0%	12.3%
住宅や生活環境を選ぶ際に調査する	6.3%	7.0%	4.6%	6.1%	4.7%
差別的な言動や落書きをする	10.2%	8.8%	10.2%	8.0%	6.5%
インターネットを利用して差別的な情報を掲載する	10.2%	10.8%	6.7%	5.9%	5.1%
誤った偏見から交際を避ける	13.4%	16.6%	15.9%	13.0%	14.5%
えせ同和行為がある	4.3%	5.5%	6.2%	8.5%	10.2%
その他	1.2%	2.5%	1.9%	2.4%	2.5%
特にない	5.5%	4.3%	5.6%	4.5%	8.6%
無回答	0.0%	1.3%	1.6%	1.9%	3.7%

II 調査結果の分析

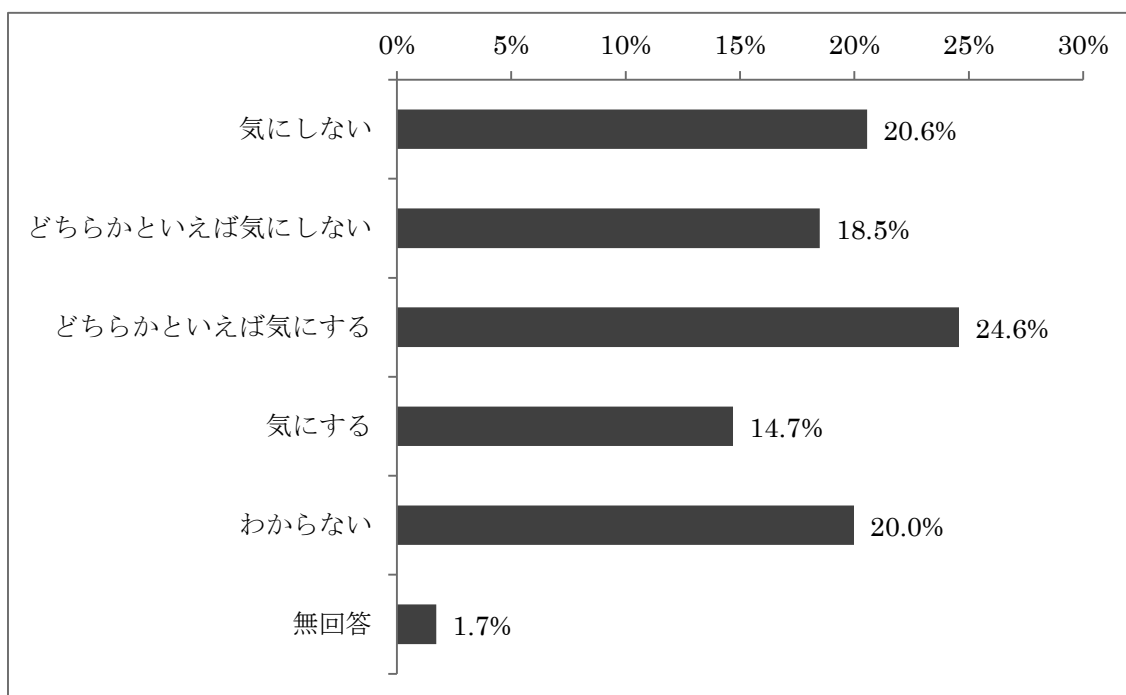
問16-2 あなたは、住宅の購入や生活環境を選ぶ際に、仮にその場所が同和地区であった場合、気にしますか。(〇は1つ)

【全体】

同和問題（部落差別）を知っている871人に住宅の購入や生活環境を選ぶ際に、仮にその場所が同和地区であった場合の対応を聞いたところ、「どちらかといえば気にする」が24.6%、次いで「気にしない」が20.6%、「わからない」が20.0%と続いている。

	回答者数	構成比
気にしない	179人	20.6%
どちらかといえば気にしない	161人	18.5%
どちらかといえば気にする	214人	24.6%
気にする	128人	14.7%
わからない	174人	20.0%
無回答	15人	1.7%

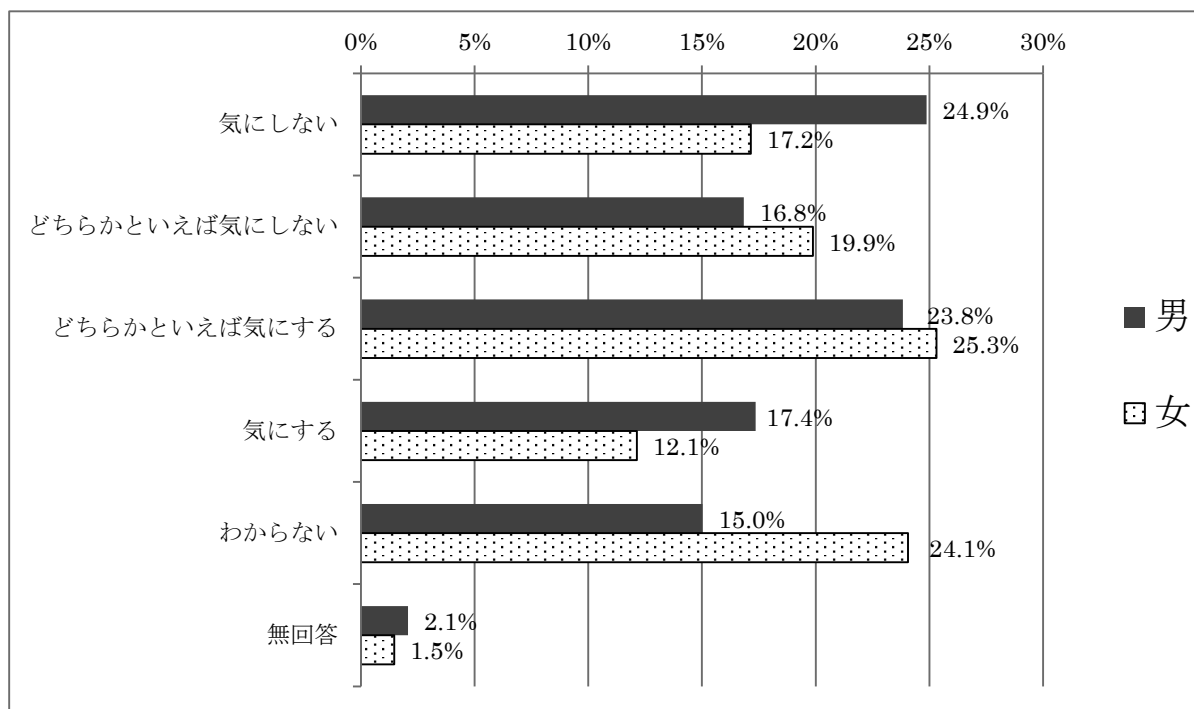
(回答者数合計 871人)



【性別】

男性は「気にしない」が24.9%、次いで「どちらかといえば気にする」が23.8%、「気にする」が17.4%と続いている。

女性は「どちらかといえば気にする」が25.3%、次いで「わからない」が24.1%、「どちらかといえば気にしない」が19.9%と続いている。



(回答者数：男性 386 人・女性 478 人)

【年代別】

「どちらかといえば気にする」では、30歳代を除いて各年代で最も高くなっている。

「気にしない」では各年代とも概ね20%前後で、30歳代が22.0%で最も高くなっている。

年 代 (回答者数：合計 861 人)	20歳代 (99 人)	30歳代 (150 人)	40歳代 (158 人)	50歳代 (208 人)	60歳 以上 (246 人)
気にしない	18.2%	22.0%	19.6%	20.7%	21.5%
どちらかといえば気にしない	16.2%	15.3%	19.6%	19.7%	19.1%
どちらかといえば気にする	30.3%	23.3%	24.7%	25.0%	22.4%
気にする	18.2%	14.7%	15.8%	12.0%	15.0%
わからない	16.2%	24.0%	20.3%	20.2%	18.7%
無回答	1.0%	0.7%	0.0%	2.4%	3.3%

II 調査結果の分析

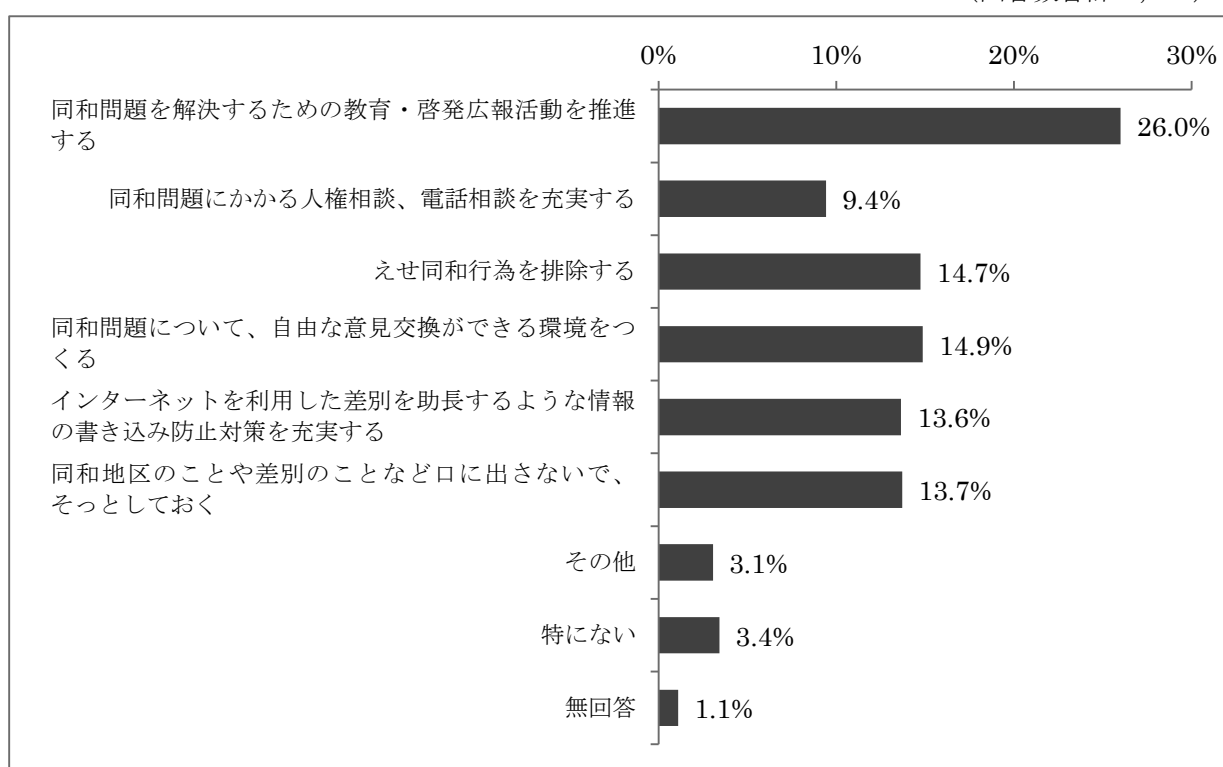
問16-3 あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

同和問題（部落差別）を知っている871人に同和問題（部落差別）の解決のために必要なことを聞いたところ、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が26.0%で最も高く、次いで「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が14.9%、「えせ同和行為を排除する」が14.7%と続いている。

	回答数	構成比
同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する	425	26.0%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	154	9.4%
えせ同和行為を排除する	241	14.7%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	243	14.9%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の書き込み防止対策を充実する	223	13.6%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	224	13.7%
その他	50	3.1%
特にない	56	3.4%
無回答	18	1.1%

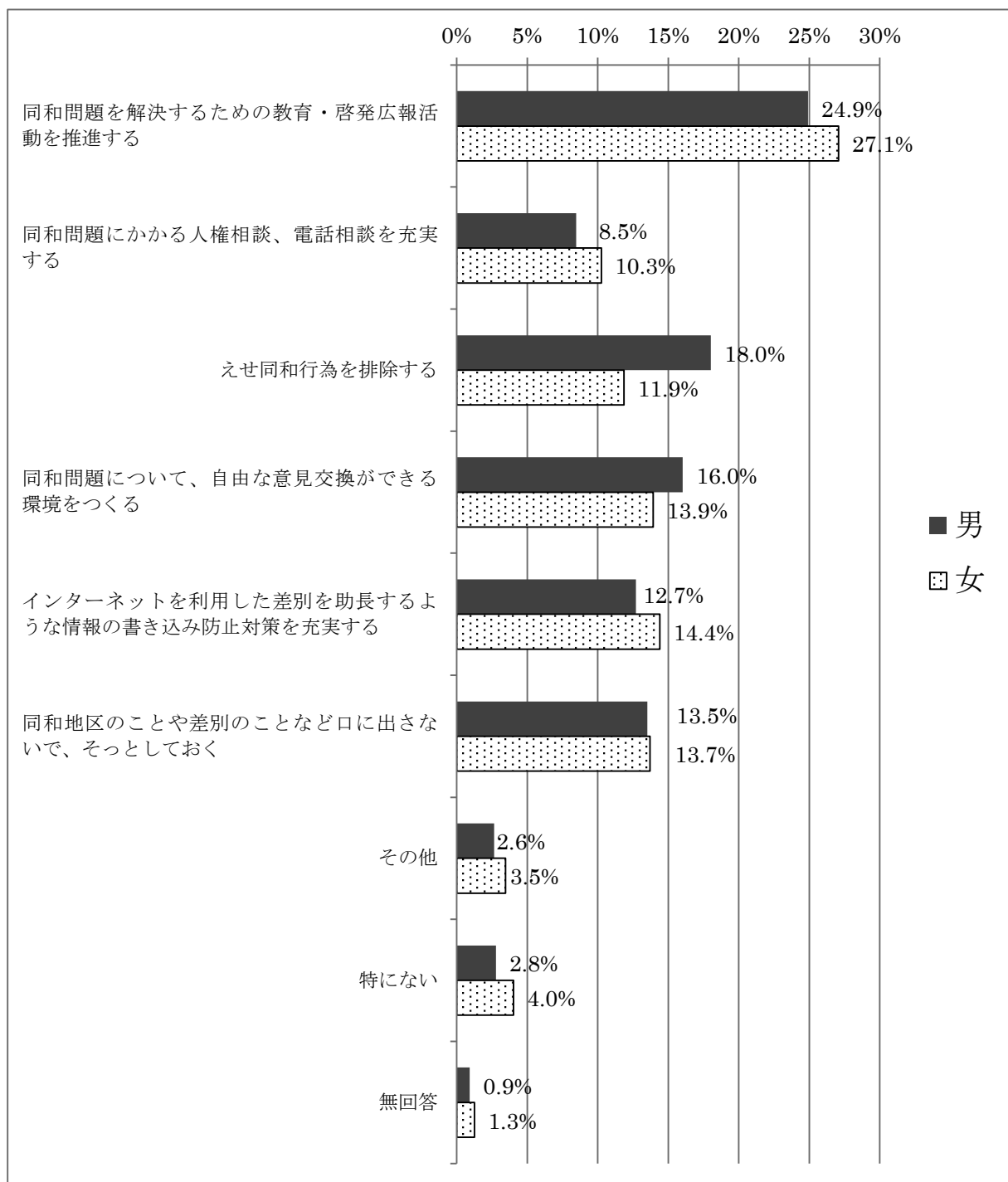
(回答数合計 1,634)



【性別】

男性は「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が24.9%で最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が18.0%と続いている。

女性は「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が27.1%で最も高く、次いで「インターネットを利用した差別を助長するような情報の書き込み防止対策を充実する」が14.4%と続いている。



(回答数：男性 755・女性 868)

II 調査結果の分析

【年代別】

「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」では各年代とも25%を超え、最も高くなっている。

「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」では、50歳代が16.9%で最も高くなっている。

年 代 (回答数:合計 1,615)	20歳代 (179)	30歳代 (258)	40歳代 (278)	50歳代 (421)	60歳 以上 (479)
同和問題を解決するための教育・啓発 広報活動を推進する	26.3%	25.6%	25.9%	27.1%	25.7%
同和問題にかかる人権相談、電話相談 を充実する	10.1%	8.1%	10.1%	10.9%	8.1%
えせ同和行為を排除する	13.4%	14.3%	13.7%	16.6%	14.2%
同和問題について、自由な意見交換が できる環境をつくる	14.0%	13.2%	11.9%	16.9%	16.1%
インターネットを利用した差別を助長 するような情報の書き込み防止対策を 充実する	15.6%	15.5%	17.3%	12.4%	10.9%
同和地区のことや差別のことなど口 に出さないで、そっとしておく	15.1%	13.2%	13.3%	10.5%	16.3%
その他	3.4%	7.0%	3.6%	1.7%	1.9%
特になし	1.7%	1.9%	4.0%	3.1%	5.0%
無回答	0.6%	1.2%	0.4%	1.0%	1.9%

7 外国人の人権

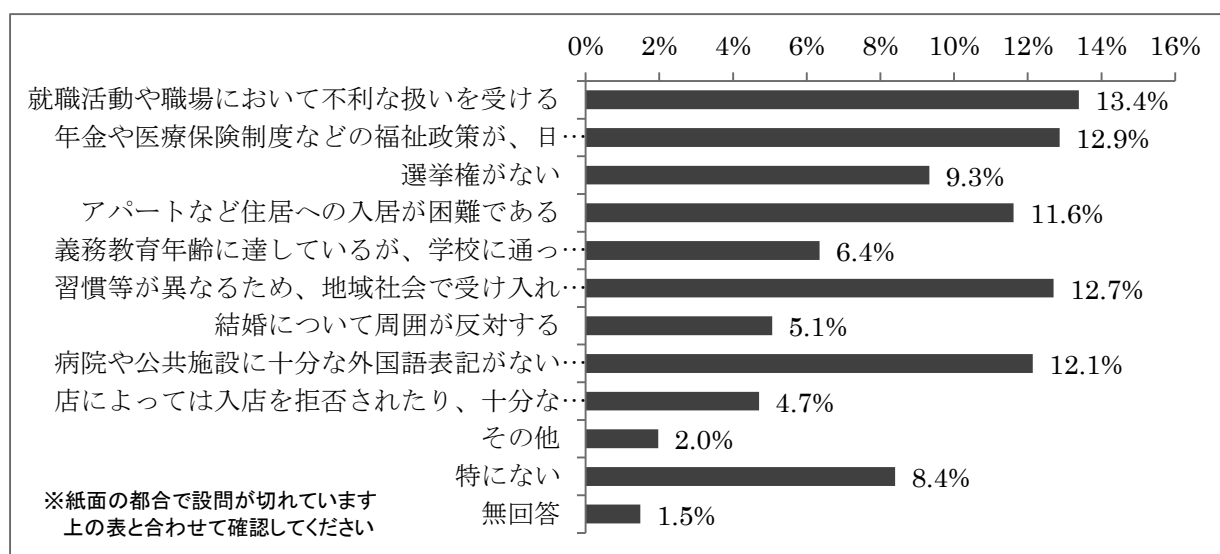
問17 あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに○）

【全体】

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が13.4%で最も高く、次いで「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」が12.9%、「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が12.7%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」が12.1%、「アパートなど住居への入居が困難である」が11.6%と続いている。

	回答数	構成比
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	333	13.4%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない	320	12.9%
選挙権がない	232	9.3%
アパートなど住居への入居が困難である	289	11.6%
義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない子どもがいる	158	6.4%
習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい	316	12.7%
結婚について周囲が反対する	126	5.1%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい	302	12.1%
店によっては入店を拒否されたり、十分なサービスを受けられなかったりする	117	4.7%
その他	49	2.0%
特にない	209	8.4%
無回答	37	1.5%

(回答数合計 2,488)

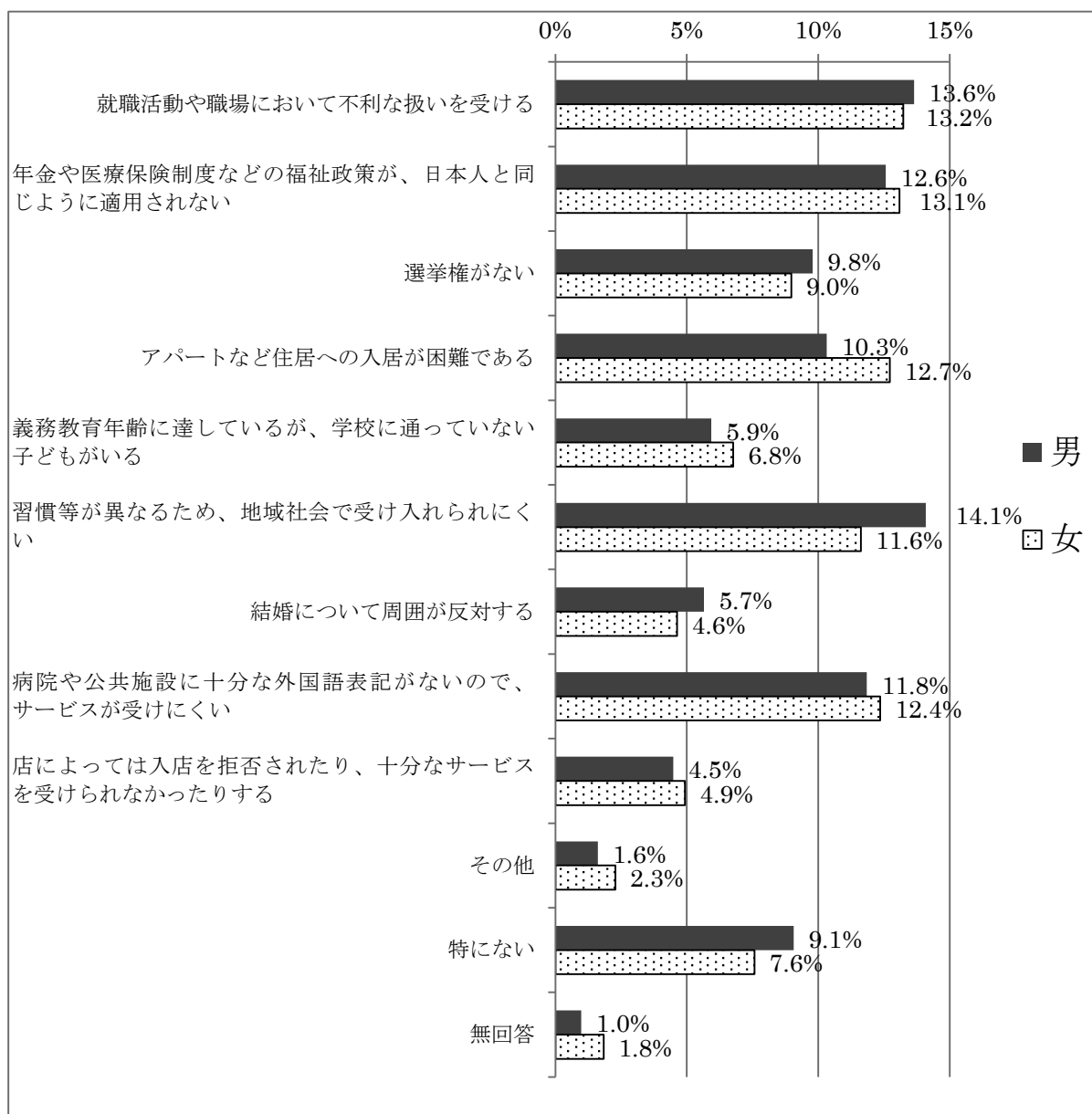


II 調査結果の分析

【性別】

男性は「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が14.1%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が13.6%、「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」が12.6%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」が11.8%、「アパートなど住居への入居が困難である」が10.3%と続いている。

女性は「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が13.2%で最も高く、次いで「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」が13.1%、「アパートなど住居への入居が困難である」が12.7%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」が12.4%、「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が11.6%と続いている。



(回答数：男性 1,114・女性 1,360)

【年代別】

「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」では50歳代14.6%、40歳代14.0%、20歳代13.9%、30歳代13.3%、60歳以上11.3%と続いている。

「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」では20歳代9.4%、30歳代9.9%、40歳代11.6%、50歳代13.7%、60歳以上16.3%と年代が上がるにしたがって高くなっている。

「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」では20歳代14.2%、40歳代13.3%、60歳以上13.6%と高くなっている。

「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい」では30歳代14.2%、50歳代13.1%、60歳以上12.2%と高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,458)	20歳代 (374)	30歳代 (443)	40歳代 (413)	50歳代 (597)	60歳 以上 (631)
就職活動や職場において不利な扱いを受ける	13.9%	13.3%	14.0%	14.6%	11.3%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない	9.4%	9.9%	11.6%	13.7%	16.3%
選挙権がない	7.0%	9.5%	9.9%	9.9%	10.0%
アパートなど住居への入居が困難である	11.5%	12.9%	13.3%	11.7%	9.7%
義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない子どもがいる	8.3%	6.5%	6.8%	6.7%	4.6%
習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい	14.2%	11.3%	13.3%	11.6%	13.6%
結婚について周囲が反対する	9.1%	6.1%	4.4%	4.0%	3.6%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくい	9.4%	14.2%	11.1%	13.1%	12.2%
店によっては入店を拒否されたり、十分なサービスを受けられなかったりする	8.0%	6.8%	3.9%	4.2%	2.4%
その他	1.1%	2.5%	1.9%	2.2%	2.1%
特にない	7.0%	7.0%	8.7%	7.7%	10.6%
無回答	1.3%	0.0%	1.0%	0.7%	3.6%

II 調査結果の分析

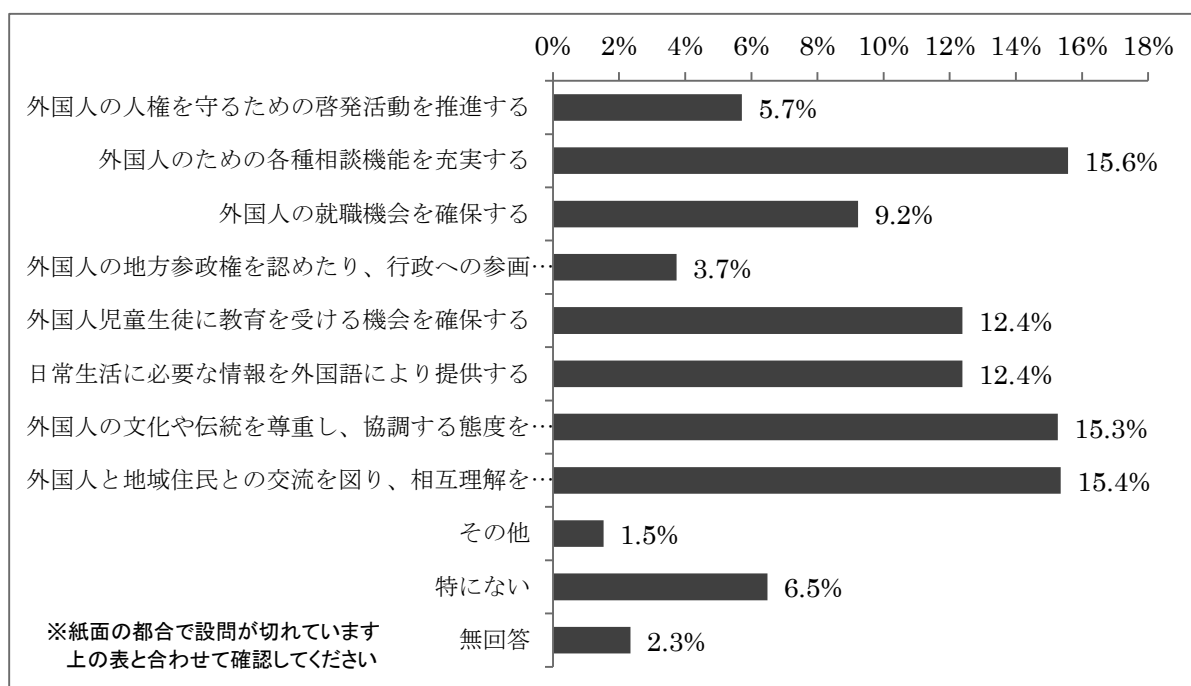
問18 あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

外国人の人権を守るために必要なこととして、「外国人のための各種相談機能を充実する」が15.6%で最も高く、次いで「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が15.4%、「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が15.3%、「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」及び「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が12.4%と続いている。

	回答数	構成比
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	127	5.7%
外国人のための各種相談機能を充実する	346	15.6%
外国人の就職機会を確保する	205	9.2%
外国人の地方参政権を認めたり、行政への参画を推進したりする	83	3.7%
外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する	275	12.4%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	275	12.4%
外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める	339	15.3%
外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	341	15.4%
その他	34	1.5%
特にない	144	6.5%
無回答	52	2.3%

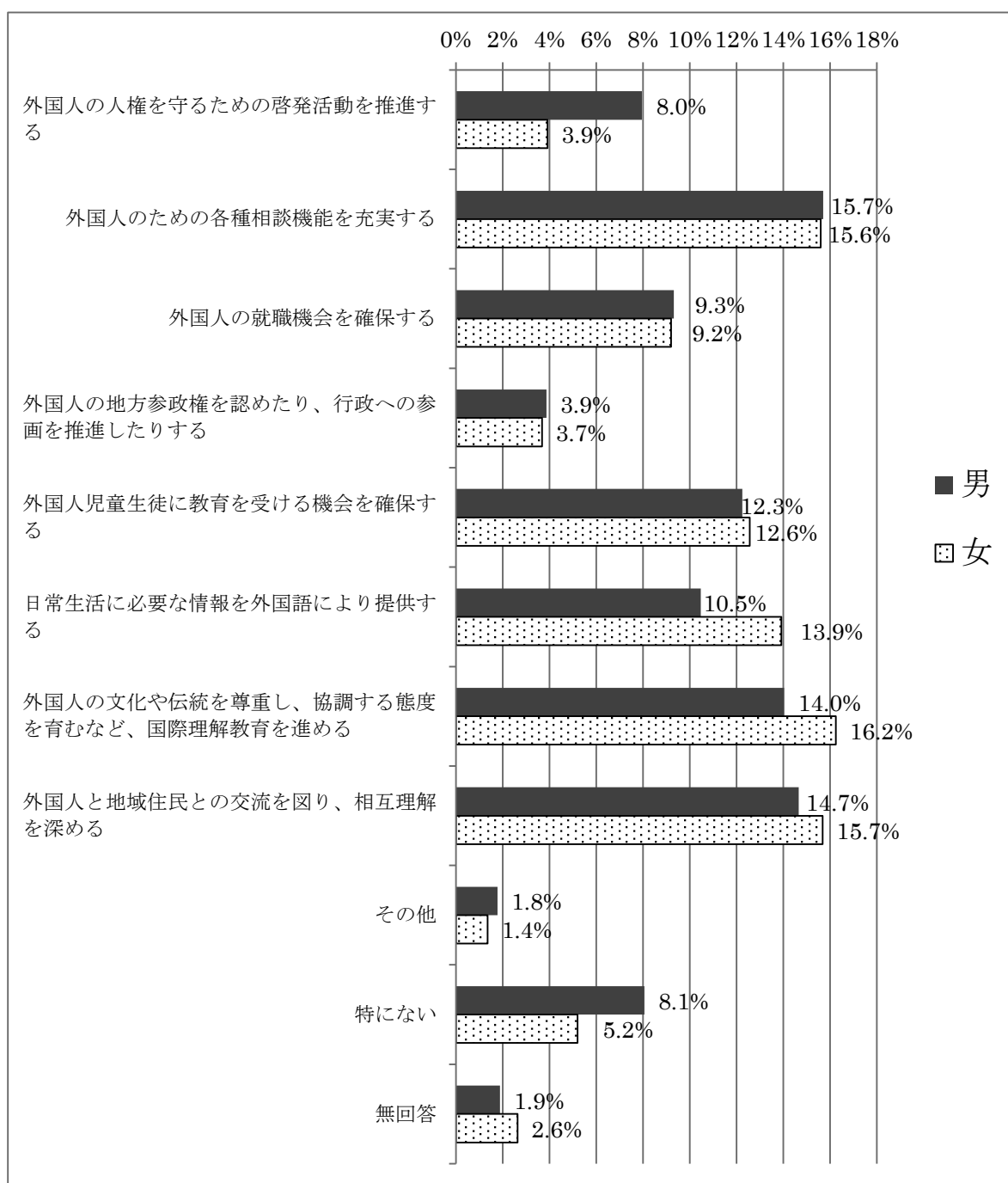
(回答数合計 2,221)



【性別】

男性は「外国人のための各種相談機能を充実する」が15.7%で最も高く、次いで「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が14.7%、「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が14.0%と続いている。

女性は「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が16.2%で最も高く、次いで「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が15.7%、「外国人のための各種相談機能を充実する」が15.6%と続いている。



(回答数：男性 955・女性 1,250)

II 調査結果の分析

【年代別】

「外国人のための各種相談機能を充実する」では20歳代9.8%、30歳代が13.4%、40歳代15.1%、50歳代17.2%、60歳以上18.5%と年代が上がるにしたがって高くなっている。

「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」では30歳代17.5%、20歳代16.6%が高く、40歳代・50歳代がともに16.1%と続いて高くなっている。

「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」では40歳代16.9%、20歳代15.6%と高くなっている。

年 代 (回答数：合計 2,194)	20歳代 (295)	30歳代 (372)	40歳代 (385)	50歳代 (516)	60歳 以上 (626)
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	4.4%	3.5%	4.4%	6.0%	8.1%
外国人のための各種相談機能を充実する	9.8%	13.4%	15.1%	17.2%	18.5%
外国人の就職機会を確保する	13.2%	10.8%	9.6%	7.9%	7.2%
外国人の地方参政権を認めたり、行政への参画を推進したりする	3.7%	3.8%	3.1%	4.7%	3.4%
外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する	11.5%	12.4%	12.2%	11.8%	13.3%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	14.2%	15.1%	11.2%	12.0%	11.3%
外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める	16.6%	17.5%	16.1%	16.1%	12.5%
外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	15.6%	14.5%	16.9%	15.1%	14.5%
その他	1.4%	2.2%	1.6%	2.1%	0.8%
特にない	7.1%	5.6%	7.3%	5.8%	6.7%
無回答	2.4%	1.3%	2.6%	1.2%	3.7%

人権に関する意識調査報告書

平成27年3月発行

調査主体 入間郡市同和対策協議会